

# まちだ未来づくりビジョン2040 町田市 5 カ年計画 22-26 2022年度の取り組み結果

— 本編 —



2023年8月  
町田市

## 目 次

1	まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26	3
	(1) まちだ未来づくりビジョン2040とは	3
	(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは	6
2	まちづくり基本目標の取り組み結果	8
	(1) 施策の到達状況	8
	(2) 重点事業プランの取り組み結果	11
	<目標の達成状況と主な成果>	
	政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	17
	政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる	20
	政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	30
	政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる	34
	政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる	38
	政策6 つながり力を力にするまちになる	41
	政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる	44
	政策8 思わず出歩きたくまちになる	48
	政策9 みんなが安心できる強いまちになる	53
3	経営基本方針の取り組み結果	58
	(1) 経営基本方針の到達状況	58
	(2) 経営改革プランの取り組み結果	59
	(3) 経営改革プランの効果額一覧	63
	<目標の達成状況と主な成果>	
	基本方針1 共創で新たな価値を創造する	65
	基本方針2 対話を通して市役所能力を高める	68
	基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	71
4	「財政見直し」と決算見込額との比較分析	
	(1) 計画額と決算見込額との比較	75
	(2) 2022年度(令和4年度)の財政指標	76

# 1 まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26

まちだ未来づくりビジョン2040は、町田市の市政運営の基本となる計画です。

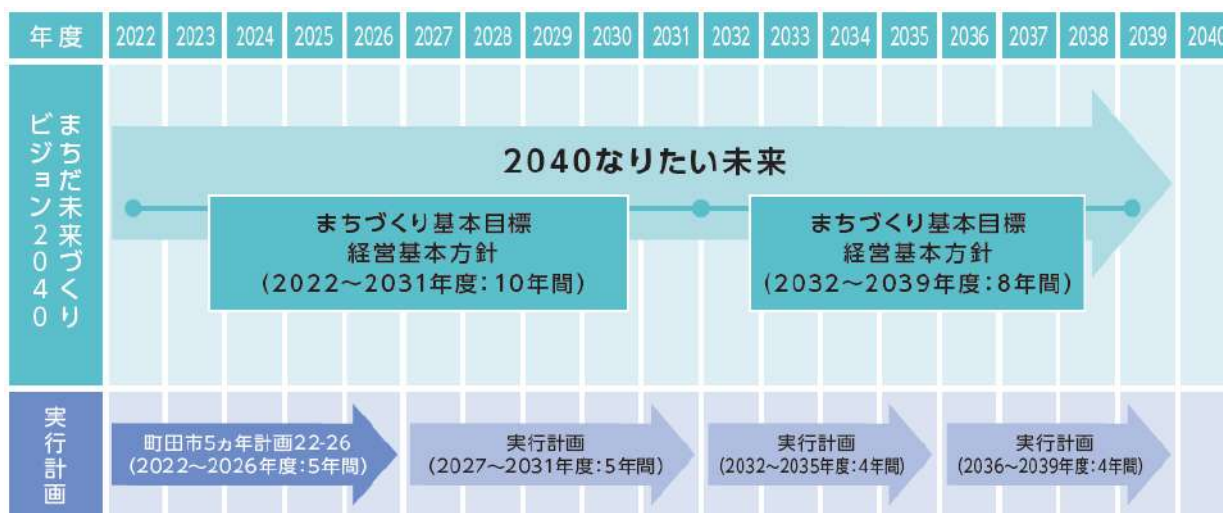
基本構想部分の「2040年りたい未来」が2039年度までの18年間、基本計画部分の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」が2031年度までの10年間を計画期間としています。

そして、これらの実行計画となる町田市5ヵ年計画22-26は、2022年度から2026年度までの5年間としています。

## ■計画の構成



## ■計画の期間



### (1) まちだ未来づくりビジョン2040とは

#### ○基本構想部分

「2040年りたい未来」では、まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を3つの“年りたいまちの姿”（都市像）、1つの“行政経営の姿”（経営像）として掲げています。また、それらからイメージされる未来の町田市を一言で表すキャッチコピーとして「なんだかんだまちだ」と定めています。

#### ➤「なんだかんだまちだ」とは

「なんだかんだ言っても町田が一番。」と誰もが感じることのできるまち、みんなに愛される、ほかにはないユニークなまちのイメージをキャッチコピーで表現しています。

■「2040 年 なる たい 未来」の構成



➤ 3つの「なる たい まち の 姿」の成り立ち

なる たい まち の 姿 は、タ ウ ン ミ ー テ ィ ン グ 等、市 民 の 皆 さ ん と の 意 見 交 換 会 で 多 く いた だ いた 「子 ども」、「暮 ら し」、「つ な が り」に 関 す る こ と を キ ー ワ ー ド に、ワ ー ク シ ョ ッ プ 等 を 通 し て 多 く の 方 の 想 い を 集 め る こ と で 作 ら れ ま し た。

- ◆ 「子 ども」：こ こ で の 成 長 が カ タ チ に なる ま ち
- ◆ 「暮 ら し」：わ た し の “ココチ よ さ” が かな う ま ち
- ◆ 「つ な が り」：誰 も が ホ ッ と 可 能 な ま ち

町 田 市 で は、2040 年 に 向 け て “なる たい まち の 姿” (都 市 像) と “行政 経営 の 姿” (経 営 像) を 実 現 し、多 く の 皆 さ ん に 「な ん だ かん だ 言 っ て も、や っ ぱ り 町 田 が 一 番」 と 思 っ て も ら え る よ う な ま ち づ くり を 進 め て い ま す。

## ○基本計画部分

「2040 になりたい未来」で掲げた、“なりたいまちの姿”と“行政経営の姿”を実現させるため、まちづくりの方向性と行政経営の方向性に沿って、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを体系的に示す、市政運営の基本となる10年間の計画です。

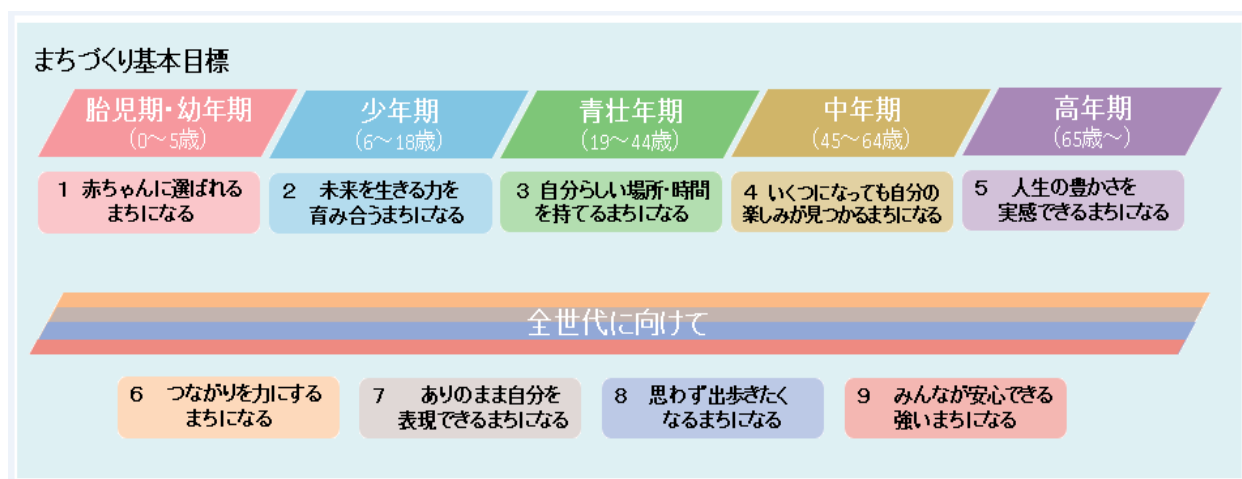
### <まちづくり基本目標の構成>

3つの“なりたいまちの姿”の実現に向けて、9つの政策を軸に施策を体系的に示しています。

- 政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる
- 政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる
- 政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる
- 政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる
- 政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる
- 政策6 つながり力を加えるまちになる
- 政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる
- 政策8 思わず出歩きたくなるまちになる
- 政策9 みんなが安心できる強いまちになる

### ➤まちづくり基本目標の特長

それぞれ生き方の違う人が、人生のどの段階においても当てはまるよう、ライフステージごとに政策を定め、「自分ゴト」として捉えられるようにしているのが特長です。



### <経営基本方針の構成>

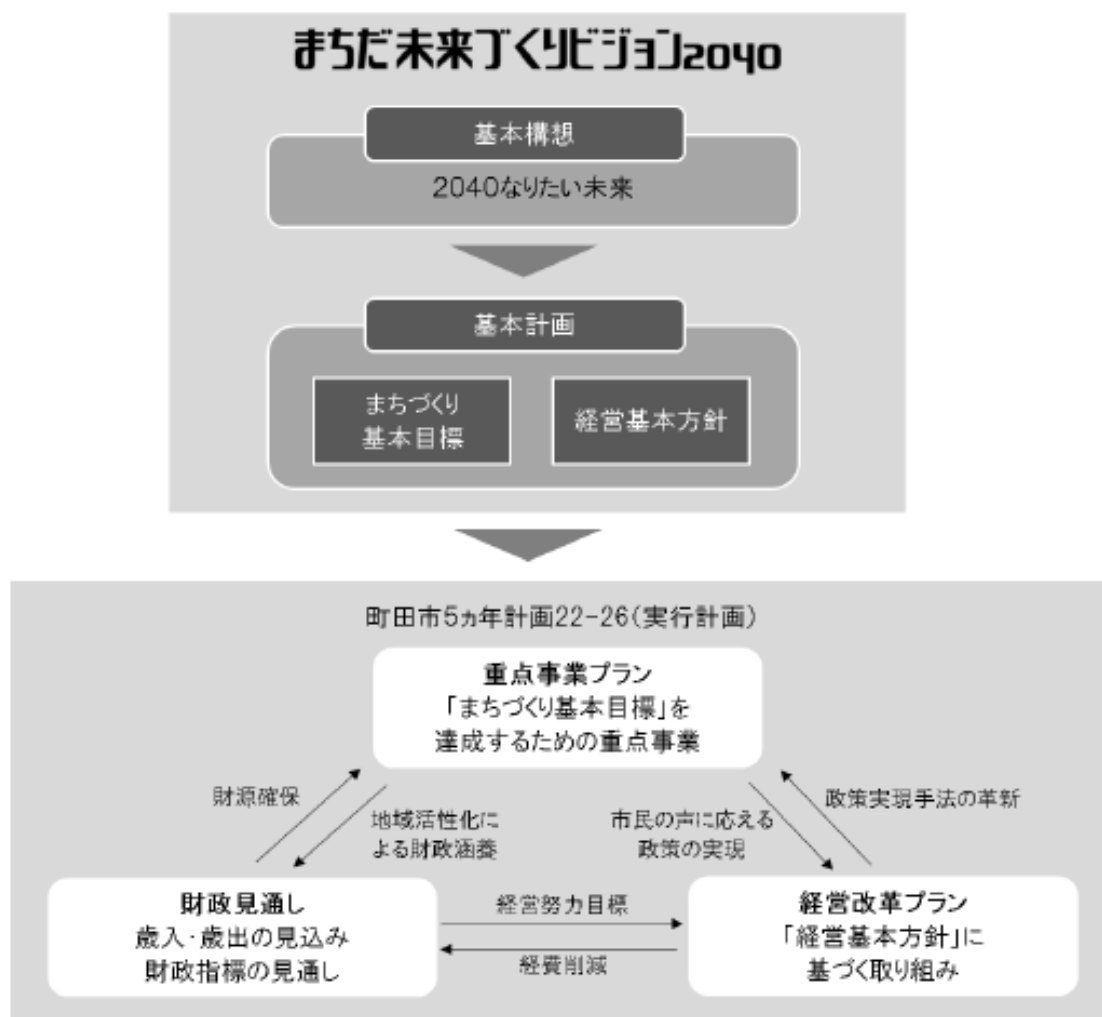
“行政経営の姿”を実現するための方針を体系的に示し、まちづくり基本目標の実現を支えます。

- 基本方針1 共創で新たな価値を創造する
- 基本方針2 対話を通して市役所能力を高める
- 基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは

まちだ未来づくりビジョン2040の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」の達成に向け、財政見通しに基づいて、どのようにまちづくりを行い、何に重点的に取り組んでいくのかを「重点事業（重点事業プラン）」と「改革の取り組み（経営改革プラン）」として定め、総合的かつ計画的に進めていくため、実行計画として町田市5ヵ年計画22-26を策定しています。

「重点事業」は、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる政策や施策（まちづくり基本目標）に、「改革の取り組み」は、基本方針や改革項目（経営基本方針）にそれぞれ紐づき、ビジョン実現のための具体的な活動としています。



➡次頁からは、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」ごとに、それぞれに紐づく施策と改革項目、町田市5ヵ年計画22-26の「重点事業プラン」と「経営改革プラン」の、2022年度の取り組み状況と設定した指標の評価を記載しています。

# まちづくり基本目標

## 2 まちづくり基本目標の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040のまちづくり基本目標に掲げる9つの政策を受け、その実現に向けて体系づけた「施策」と重点的に取り組む「重点事業」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

### (1) 施策の到達状況

各施策に設定した指標の目標値に対する2022年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2022年度)
政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる				
1-1:魅力ある子育て環境をつくる				
施策	0歳から14歳の転入超過割合(10年平均)	54.7%	60.0%	43.6%
	1-2:多様な子育てサービスを提供する			
	認可保育所待機児童数	76人	0人	30人 <sup>※1</sup>
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる				
2-1:子どもが自分らしく育つ場を提供する				
	子どもの居場所が確保されていると思う市民の割合	40.3%	50.0%	31.9%
	意見表明を始めとする子どもの市政への参画がされていると思う市民の割合	8.4%	20.0%	13.9%
2-2:学ぶ意欲を育てる				
※2	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている割合	小6 78.6% 中3 77.5%	小6 85.0% 中3 85.0%	小6 81.0% 中3 79.8%
施策	全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力合計点」 (全国平均を100とした場合)	<小5> 男子 100 女子 99	<小5> 男子 104 女子 103	<小5> 男子 99 女子 98
		<中2> 男子 95 女子 96	<中2> 男子 100 女子 100	<中2> 男子 97 女子 98
※3	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながるできている割合	小6 76.0% 中3 73.9%	小6 80.0% 中3 80.0%	小6 76.8% 中3 74.5%
2-3:教育環境を充実させる				
	小学校・中学校の教育環境が整っていると思う市民の割合	33.3%	60.0%	43.7%
	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	小6 85.8% 中3 78.4%	小6 90.0% 中3 83.0%	小6 85.9% 中3 82.5%
2-4:地域の教育力を高める				
	学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合	—	小 100% 中 100%	小 86.4% 中 73.0%

※1 認可保育所待機児童数の2022年度実績値は、2022年度の取り組み結果が2023年4月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

※2 ※3 ビジョン策定時、※2については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、※3については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。



政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2021年度)	実績値 (2022年度)
<b>政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる</b>				
3-1:ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる				
	付加価値額	5,416億円	6,000億円	- ※4
施策	3-2:町田ならではの地域資源をいかす			
	町田市に対して愛着や親しみを感じている市民の割合	87.5%	93.5%	85.7%
	観光入込客数	574万人	650万人	573万人 ※5
<b>政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる</b>				
4-1:生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する				
	生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合	30.8%	50.0%	24.7%
施策	4-2:スポーツへの参加機会を充実させる			
	スポーツ実施率	62.6%	70.0%	64.3%
	「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合	92.8%	95.0%	90.5%
<b>政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる</b>				
5-1:高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる				
施策	高齢者の地域活動参加率	前期高齢者 71.0% 後期高齢者 58.8%	前期高齢者 79.0% 後期高齢者 66.8%	前期高齢者 70.5% 後期高齢者 56.6%
	高齢者の主観的健康感	84.7%	89.0%	85.0%
5-2:高齢者を地域で支える体制をつくる				
	在宅療養について希望するし実現可能だと思う高齢者の割合	28.3%	33.0%	31.7%
	必要とする職員数を確保できていると考えている 介護保険事業所の割合	48.0%	60.0%	46.3%
<b>政策6 つながり力をかにするまちになる</b>				
6-1:つながり、支え合える基盤をつくる				
施策	地域とのつながり満足している市民の割合	48.2%	60.0%	55.6%
	地域につながり、支え合いがあると思う市民の割合	32.0%	45.0%	30.4%
6-2:みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる				
	市内の温室効果ガス排出量	1,284千 t-co2	998千 t-co2	- ※6
	一人一日あたりのごみ排出量	775g	714g	741g
<b>政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる</b>				
7-1:一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる				
	性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合	81.8%	85.0%	92.1%
施策	7-2:文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる			
	市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合	13.0%	30.0%	13.8%
	文化施設利用率の平均値	61.6%	70.0%	65.0%

※4 経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2022年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

※5 「観光入込客数」は2023年の確定が毎年9月頃のため、前年（2022年）実績を記載しています。

※6 「市内の温室効果ガス排出量」の2022年度の数値は、本取り組み結果公表時点で未公表のため、「-（ハイフン）」としています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2022年度)
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる				
施策	8-1:気軽に外へ出てつながれる環境をつくる			
	市内で滞在した時間(1日平均)	220分	240分	—※7
	市内で活動した人数(1日平均)	37万人	40万人	—※8
	8-2:ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
	自分が住む地域での生活に満足している市民の割合	77.0%	90.0%	82.0%
	8-3:健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
	みどりの環境に満足している市民の割合	79.8%	90.0%	88.8%
政策9 みんなが安心できる強いまちになる				
施策	9-1:ひと・まちを災害に強くする			
	自主防災活動実施率	91.6%	100%	93.6%
	災害などの非常時に対して備えている市民の割合	87.7%	100%	89.4%
	9-2:地域の安全を守る			
	治安が良いと感じる市民の割合	76.5%	80.0%	81.3%
	市内の交通事故(人身事故)件数【年単位集計】	855件	693件	913件
	9-3:市民の健康を守る			
	自殺死亡率(人口10万人あたり)	15.3	12.2以下	15.3
	健康診断を受診している市民の割合	76.5%	80.0%以上	81.6%

※7 ※8 「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回パーソントリップ調査によって調査されており、2022年度は調査未実施のため「—(ハイフン)」としています。

※上記一覧表の「市民の割合(〇〇している市民の割合)」の指標については、「2022年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2022年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

(2) 重点事業プランの取り組み結果

各重点事業で設定する、それぞれの指標の2022年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

< 「取り組み結果」の考え方 >

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して100%以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の100%未満の実績値の場合）

\* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100%を超える場合にも100%を上限としています。

**2022年度の目標達成率・・・92%**

\* 「2022年度の目標達成率」は、全重点事業の達成率の平均から算出しています。

\* 2022年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

\* 整備工事完了等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を50%としています。

政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる					
施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域における子育て支援の充実	96%	産後ケア利用申請数	○ (100%)	399件	707件
		地域子育て相談センターの相談件数	△ (89%)	17,500件	15,547件
		マイ保育園累計実施園	○ (100%)	71園	72園
2 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築	100%	配達食数	○ (100%)	240食	249食
3 ひとり親家庭の支援	100%	高卒認定試験合格支援申請相談者数	○ (100%)	5件	5件
		養育費確保支援申請者数	-	-	-
施策1-2 多様な保育サービスを提供する					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 送迎保育による多様な保育サービスの推進	100%	送迎保育ステーション利用定員数	○ (100%)	8,000人	9,374人
2 病児・病後児保育の充実	100%	病児・病後児保育施設累計数	○ (100%)	7施設	7施設
3 保育の質の向上推進	97%	保育サービス利用者・提供者の満足度	○ (100%)	80%	100%
		保育士養成校等との連携回数	△ (93%)	14回	13回
4 教育・保育施設の整備	100%	3歳児未満の保育サービスの提供率	○ (100%)	46%	47%
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる					
施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 子どもの参画の推進	100%	子どもが意見を発信する回数	○ (100%)	4回	12回
2 子どもクラブの整備	-	子どもクラブ累計施設数	-	-	-
3 学童保育クラブの整備	50%	学童保育クラブ整備累計施設数	△ (50%)	2施設	1施設

政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる

施策2-2 学ぶ意欲を育てる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 えいごのまちだの推進	99%	中学2年生のGTECトータルスコア398点(3年生英検3級程度の能力相当)取得した生徒の割合	△(98%)	55.0%	53.9%
		英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生の割合	○(100%)	70.0%	71.9%
		英語で書いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる中学生の割合	○(100%)	55.0%	68.3%
2 ICT教育の充実	63%	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	△(46%)	50.0%	54.2%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生(第5・6学年)の割合	△(88%)	82.5%	72.8%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている中学生(第1学年)の割合	△(56%)	56.0%	31.4%
3 地域のスポーツ環境の充実	76%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	△(81%)	58.7%	47.3%
		30～49歳のスポーツ実施率(女性)	△(91%)	65.7%	59.5%
		スポーツに関するボランティアを行った割合	△(55%)	6.6%	3.6%
4 キャリア教育の推進	99%	将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(小6)	△(99%)	78%	77.1%
		将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(中3)	△(98%)	67%	65.9%

施策2-3 教育環境を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 新たな学校づくりの推進	100%	新たな学校づくり基本計画検討会累計設置数	○(100%)	5地区	5地区
		新たな学校づくり基本計画累計策定数	○(100%)	5件	5件
2 中学校給食センターの整備	100%	中学校全員給食の導入	○(100%)	事業者選定	事業者選定
3 小学校施設の整備	-	建替え等の設計累計着手校(小学校)	-	-	-
4 中学校施設の整備	-	建替え等の設計累計着手校(中学校)	-	-	-
5 特別支援学級の充実	100%	特別支援学級累計設置校数	○(100%)	39校	39校

施策2-4 地域の教育力を高める

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 学校と地域の協働	-	地域学校協働活動項目件数	-	-	-

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる

施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 起業・創業の魅力を発信	100%	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	○(100%)	12回	14回
		起業家カードの発行数	○(100%)	210件	256件
2 事業者の新分野・新技術への進出支援	97%	産業財産権取得に対する補助件数	△(93%)	30件	28件
		新商品・新サービス開発に対する補助件数	○(100%)	6件	6件
3 事業者の次代を担う人材を育成	75%	就職面接会、採用相談会等の参加者数	△(75%)	250人	187人
		労働関連セミナー参加者数	△(75%)	450人	339人
4 円滑な事業承継の推進	100%	事業承継累計完了件数	○(100%)	17件	39件
		事業承継ネットワーク個別相談受付件数	○(100%)	300件	432件
5 働きやすいまちづくりの推進	46%	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	△(0%)	1件	0件
		町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	△(92%)	805事業所	739事業所

施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 シティプロモーションの推進	99%	町田市に対して愛着や親しみを感じる市民の割合	△(97%)	88.1%	85.7%
		広告換算額	○(100%)	426百万円	1,107百万円
2 シティセールスの推進	99%	観光入込客数	△(99%)	580万人	573万人
3 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	117万人	134万人
4 香山緑地の整備	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手
5 身近に農のあるまちづくり	100%	マートステーション累計設置箇所	○(100%)	22カ所	23カ所
6 里山環境の活用と保全	100%	里山への来訪者数	○(100%)	28,000人	33,045人

政策4 いつになっても自分の楽しみが持てるまちになる

施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 ワタンが主役の図書館づくりの推進	92%	市民協働運営の施設数	-	-	-
		読書普及の取り組み紹介数	△ (92%)	25件	23件
2 新たな図書館様式の推進	-	図書館サービスを利用していない市民の割合	-	-	-
		予約資料受取場所累計施設数	-	-	-
3 新たな学びの支援	100%	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	○ (100%)	71.0%	85.0%

施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	76%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	△ (81%)	58.7%	47.3%
		30～49歳のスポーツ実施率(女性)	△ (91%)	65.7%	59.5%
		スポーツに関するボランティアを行った割合	△ (55%)	6.6%	3.6%
2 野津田公園スポーツの森の整備	100%	テニスコートの整備	○ (100%)	整備工事完了	整備工事完了
		パークセンターゾーンの整備	-	-	-
3 スポーツをする場の環境整備	89%	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	△ (89%)	53.9%	59.2%
4 忠生スポーツ公園の整備	100%	池の辺地区の整備	○ (100%)	整備工事実施	整備工事実施
		峠谷地区の整備	-	-	-
5 ホームタウンチーム等との連携の推進	100%	ホームタウンチームを知っている市民の割合	○ (100%)	71.7%	73.0%

政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる

施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域介護予防活動支援	100%	「町トレ」自主グループ累計数	○ (100%)	186団体	193団体

施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 認知症の人やその家族の居場所づくり	100%	まちづくりワークショップの累計参加者数	○ (100%)	30人	128人
2 介護人材の確保・育成・定着	100%	介護人材バンクによる就労人数	○ (100%)	45人	49人

政策6 つながりを力にするまちになる

施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域活動団体支援	100%	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数	○ (100%)	100団体	107団体
		マッチング累計件数	○ (100%)	22件	31件
2 ワタンが主役の図書館づくりの推進(4-1①再掲)	92%	市民協働運営の施設数	-	-	-
		読書普及の取り組み紹介数	○ (92%)	25件	23件
3 町田市地域ホットプランの推進	100%	新たな相談支援体制の導入累計地区数	○ (100%)	2地区	2地区

施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地球温暖化対策の推進	98%	家庭用燃料電池設置累計補助件数	△ (98%)	150件	147件
		燃料電池自動車(FCV)導入累計補助件数	-	-	-
2 資源循環型施設の整備	99%	町田市バイオエネルギーセンターの整備	△ (99%)	95.1%	95.0%
		相原地区資源ごみ処理施設の整備	-	-	-
3 プラスチックごみの減量の推進	57%	容器包装プラスチック排出削減量	△ (57%)	400t	241t

政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる

施策7-1 一人ひとりの個性を大切にできる地域をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 性の多様性への理解の促進	100%	性の多様性に関する情報発信回数	○ (100%)	2回	4回
2 障がい者差別解消推進	100%	差別解消に関連した講座等の実施回数	○ (100%)	2回	2回
3 成年後見制度の利用支援	-	市民後見人累計登録者数	-	-	-

施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園「芸術の社」パークミュージアムの整備	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△ (50%)	整備工事着手	実施設計完了
		公園の第2期整備	-	-	-

政策8 思わず出歩きたくなるまちになる

施策8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 小さな交通・地域で支える交通環境の整備	75%	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	○ (100%)	10件	14件
		整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	△ (50%)	4列	2列
2 大きな・速い交通の整備	100%	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	○ (100%)	検討	検討
3 自転車利用環境の整備	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○ (100%)	3.5km	3.5km
4 都市計画道路の整備	-	整備済延長(市施行分)	-	-	-
5 準幹線道路の整備	-	整備済延長	-	-	-
6 鶴川駅周辺のまちづくりの推進	100%	北口広場の整備	○ (100%)	広場整備工事	広場整備工事
		南北自由通路の整備	○ (100%)	整備事業認可取得	整備事業認可取得
		南口の土地区画整理	○ (100%)	事業計画(変更)	事業計画(変更)
		南口のアクセス道路整備	○ (100%)	用地測量	用地測量
7 相原駅周辺のまちづくりの推進	100%	東口アクセス路整備(相原駅)	○ (100%)	用地取得	用地取得
		東口駅前広場周辺街区整備(相原駅)	○ (100%)	整備手法検討	整備手法検討
		東口駅前広場整備(相原駅)	○ (100%)	用地取得	用地取得

施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 団地再生の推進	-	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	-	-	-
2 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
3 木曾山崎地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
4 町田駅周辺地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
5 中心市街地の賑わい空間の創出	76%	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	△ (81%)	56.3%	45.5%
		「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	△ (71%)	50.4%	36.0%



政策8 思わず出歩きたくなるまちになる

施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園”芸術の社”パークミュージアムの整備(7-2①再掲)	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△(50%)	整備工事着手	実施設計完了
		公園の第2期整備	-	-	-
2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(3-2③再掲)	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	117万人	134万人
3 野津田公園スポーツの森の整備(4-2②再掲)	100%	テニスコートの整備	○(100%)	整備工事完了	整備工事完了
		パークセンターゾーンの整備	-	-	-
4 香山緑地の整備(3-2④再掲)	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手
5 (仮称)蓮田公園の整備	100%	蓮田緑地の整備	○(100%)	実施設計完了	実施設計完了
6 忠生スポーツ公園の整備(4-2④再掲)	100%	池の辺地区の整備	○(100%)	整備工事実施	整備工事実施
		峠谷地区の整備	-	-	-
7 (仮称)大戸広場の整備	100%	(仮称)大戸広場の整備	○(100%)	基本設計完了	基本設計完了
8 都市農地の保全活用の取組	100%	生産緑地の肥培改善通知文書の発送数	○(100%)	5通	1通
		市内の農業体験に参加した市民の割合	○(100%)	0.3%	1.0%

政策9 みんなが安心できる強いまちになる

施策9-1 ひと・まちを災害に強くする

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自主防災リーダーの育成	100%	日頃から避難場所について確認している市民の割合	○(100%)	52%	52%
		「とりくむ」講座実施累計地区数	○(100%)	2地区	2地区
2 避難行動要支援者の避難支援体制整備	-	個別避難計画作成累計人数	-	-	-
3 地震対策(雨水管の耐震化)	-	耐震化率	-	-	-
4 地震対策(下水道処理施設の耐震化)	100%	成瀬クリーンセンターの耐震化率	○(100%)	72.4%	72.4%
5 浸水対策の推進	60%	雨水管整備対象箇所の浸水対策累計数	△(60%)	5カ所	3カ所
6 無電柱化の推進	-	整備済延長(累計)	-	-	-
7 住宅の耐震化の促進	99%	木造住宅の耐震化率	△(99.8%)	86.6%	86.4%
8 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進	82%	要安全確認計画記載建築物の耐震化率	△(82%)	85.0%	69.6%

施策9-2 地域の安全を守る

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 協働パトロールの充実	100%	協働パトロール回数	○(100%)	48回	61回
2 交通安全ミーティングの推進	100%	交通安全ミーティング実施回数	○(100%)	6回	12回
3 踏切道の改良	100%	鶴川1号踏切の拡幅完了	○(100%)	工事着手	工事着手
		鶴川5号踏切の拡幅完了	○(100%)	測量完了	測量完了
4 道路安全設備の緊急更新	-	町田市内幹線・準幹線道路の区画線補修工事	-	-	-
5 自転車利用環境の整備(8-1③再掲)	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○(100%)	3.5km	3.5km

施策9-3 市民の健康を守る

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 心と体の健康の推進	50%	自殺死亡率(人口10万人あたり)	△(50%)	14.1	15.3

## 目標の達成状況と 主な成果



胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

＼ 政策 /

1

## 赤ちゃんに選ばれる まちになる



2022年度の主な成果



### 1-1 重点事業① 地域における子育て支援の充実

出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型(医療機関・助産院での休息、授乳・育児指導)」や「訪問型(自宅での相談やアドバイス)」の利用日数を、従来の合計5日間から合計10日間(各5日間)に拡充した結果、目標値380件を大きく上回る707件の申請につながりました。

### 1-2 重点事業② 病児・病後児保育の充実

2022年4月に南町田病児保育室じんべえを開所し、11月には、川崎市と病児・病後児保育の広域利用協定を新たに締結しました。また、既に病児保育に係る広域利用協定を締結している八王子市と相模原市についても、病後児保育を広域利用の対象に拡充しました。



### 1-2 重点事業③ 保育の質の向上推進

保育コンシェルジュが市内の教育・保育施設を訪問し助言等を行い、各園の取り組みについて園長会の場で共有しました。また、新たに保育士サポートロイヤーを導入し、活用された相談者へアンケートを行った結果、全員が「やや満足」以上と回答し、満足度100%になるなど、保育の質の向上につながりました。

# 施策 1-1 魅力ある子育て環境をつくる

## 施策実現によってなりたい姿

- 子育て世帯の誰もが必要な情報を把握し、支援が必要なときに支援を受け、相談が必要なときに相談を受けられる環境になっています。
- 子ども・子育て支援が切れ目なく行われている環境になっています。

## なりたい姿の実現度を測る指標

### コラム

0歳から14歳の転入超過割合  
(10年平均)

現状値

54.7%  
(2020年度)

2022年度

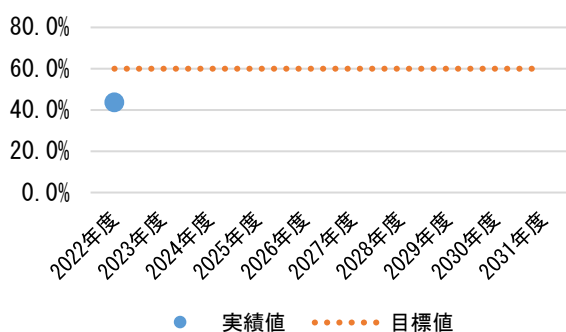
43.6%

目標値

60.0%  
(2031年度)

## 指標の経過

0歳から14歳の転入超過割合  
(10年平均)



## 施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実
- 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築
- ひとり親家庭の支援

## <参考>

■ 0～14歳の転入超過数(直近3カ年参考/10年合計・平均)

2020年	2021年	2022年	10年合計	10年平均
581人	822人	948人	6801人	680.1人

■ 転入超過数総数(直近3カ年参考/10年合計・平均)

2020年	2021年	2022年	10年合計	10年平均
1690人	3470人	2784人	15588人	1558.8人

## コラム

### 『0歳～14歳の年少人口転入超過数 全国第1位』

町田市の年少人口の転入超過数(転入者数から転出者数を差し引いた数)は、全国約1,700自治体の中でも近年トップレベルを維持し続けており、2022年は政令指定都市を除いて全国第1位に輝きました。これは、都心に程近いながらも“都市とみどりのバランスがちょうどいいまち”であることに加えて、これまで充実させてきた子どもの居場所や子育て環境が評価された結果と考えられます。これからも子育て世帯に選ばれるまちづくりを進めていきます。

## 施策 1-2

# 多様な保育サービスを提供する

### 施策実現によってなりたい姿

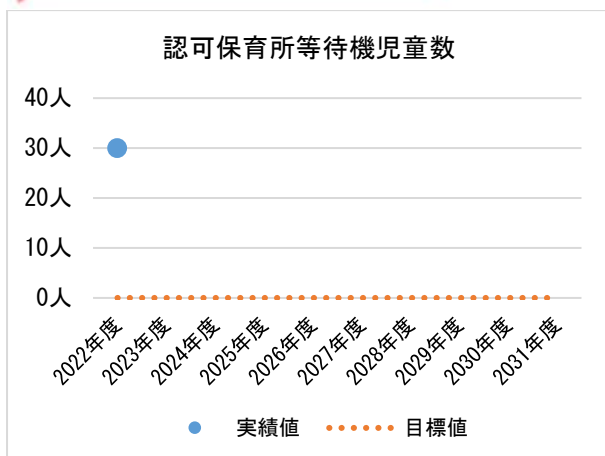
- 子育てと仕事の両立ができ、ワークライフバランス<sup>※</sup>が保てることで、充実した子育てや仕事を実現しています。
- 保育を必要としているときに必要な保育サービスを利用できる環境を実現しています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※認可保育所待機児童数の2022年度実績値は、2022年度の取り組み結果が2023年4月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 送迎保育による多様な保育サービスの推進
- 病児・病後児保育の充実
- 保育の質の向上推進
- 教育・保育施設の整備

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

若壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

＼ 政策 /

2

## 未来を生きる力を 育み合うまちになる



2022年度の主な成果



### 2-1 重点事業① 子どもの参画の推進

高校生等の若者が、市長とまちの未来や夢などについて気軽に語り合う「若者が市長と語る会」や、町田の魅力を発信し、町田の未来を考える若者グループ「町田創造プロジェクト(MSP)」などにおいて、子どもが市政に意見を発信できる機会を年に12回設定し、目標値4回を大きく上回りました。

### 2-2 重点事業① えいごのまちだの推進

ALT(外国語指導助手)を配置し、英語によるコミュニケーションを積極的に図る態度やコミュニケーション能力を育成できる環境を整備しました。また、放課後英語教室や校外学習・移動教室、国際交流イベント「English Festa」等を実施した結果、英語で伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生が目標値70%を上回る71.9%、中学生は目標値55%に対して68.3%と大きく上回りました。



### 2-3 重点事業① 新たな学校づくりの推進

2022年5月に、保護者・地域・学校運営協力者・教職員の代表で構成する新たな学校づくり基本計画検討会を南第一小学校地区に設置しました。2023年3月に、2021年から検討を始めていた4地区(本町田・南成瀬・鶴川東・鶴川西地区)とともに、5地区の「新たな学校づくり基本計画」を策定しました。

### 2-3 重点事業② 中学校給食センターの整備

町田忠生小山エリア・南エリアでは、2022年8月からの公募型プロポーザルでPFI事業者を決定し、鶴川エリアでは、2022年11月から事業者選定手続の再公募を行ってリース事業者を決定、事業に着手しました。また、学校関係者等との運営検討委員会を4回開催し、喫食情報・給食費の管理方法、給食時間・給食日数・配膳方法に関する検討を完了しました。

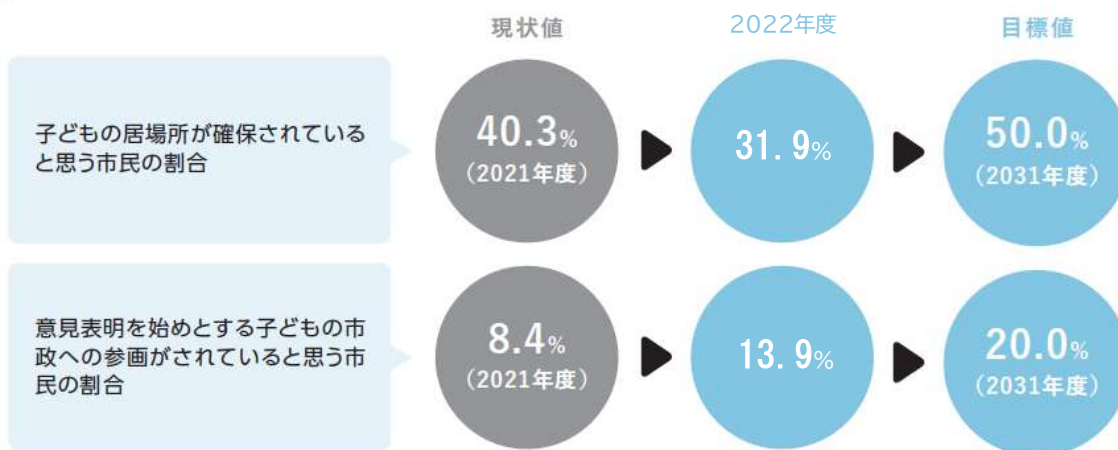


## 施策 2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する

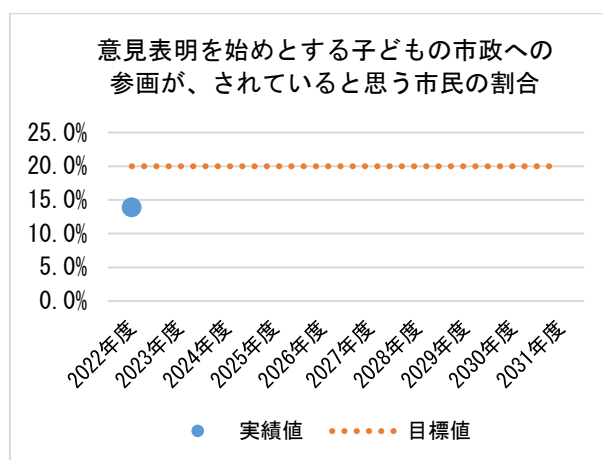
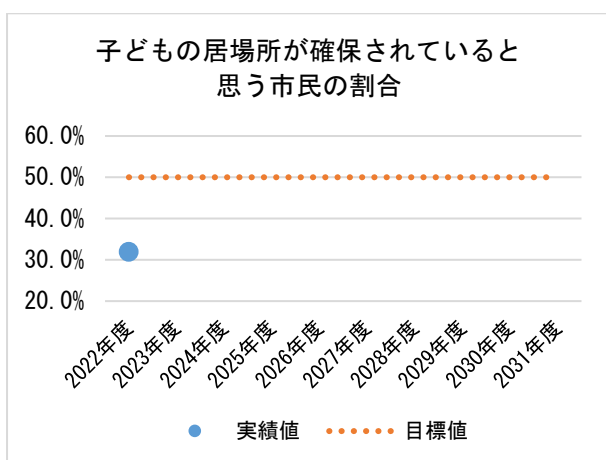
### 施策実現によってなりたい姿

- 行政のあらゆる活動に子どもが意見でき、大人と共にまちづくりに取り組んでいます。
- 家庭の事情に関係なく、子どもが「活動の場」「生活の場」「豊かに過ごせる場」を選択できるまちになっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 子どもの参画の推進

(関連事業：(仮称) 子どもにやさしいまち条例の制定)

コラム

- 子どもクラブの整備

- 学童保育クラブの整備

### コラム

#### 『(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例の制定について』

町田市では、「子どもの権利」を保障し、子どもが幸せに暮らすことができる「子どもにやさしいまち」の実現のため、2022年5月に市の附属機関である「町田市子ども・子育て会議」に検討部会を設置し、「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」の2023年度制定に向け検討を進めています。条例の検討にあたっては、子ども参画ミーティングなどの子どもを対象にしたイベントや、条例の検討部会の委員に大学生や高校生を選出し、子どもの意見を反映しています。



本条例では「児童の権利に関する条約」にある4つの「子どもの権利」について、子どもにも大人にもわかるように示し、その権利を守るための大人の責務を明確にします。

また、保護者や地域住民などの様々な立場で子どもに関わる大人一人ひとりが「子どもの権利」を理解して、互いに支え合うことで「子どもにやさしいまち」の実現を目指します。本条例が“子どもが幸せになるために、私たち大人は何ができるのか”について、それぞれの立場で考える契機になればという思いも込めています。

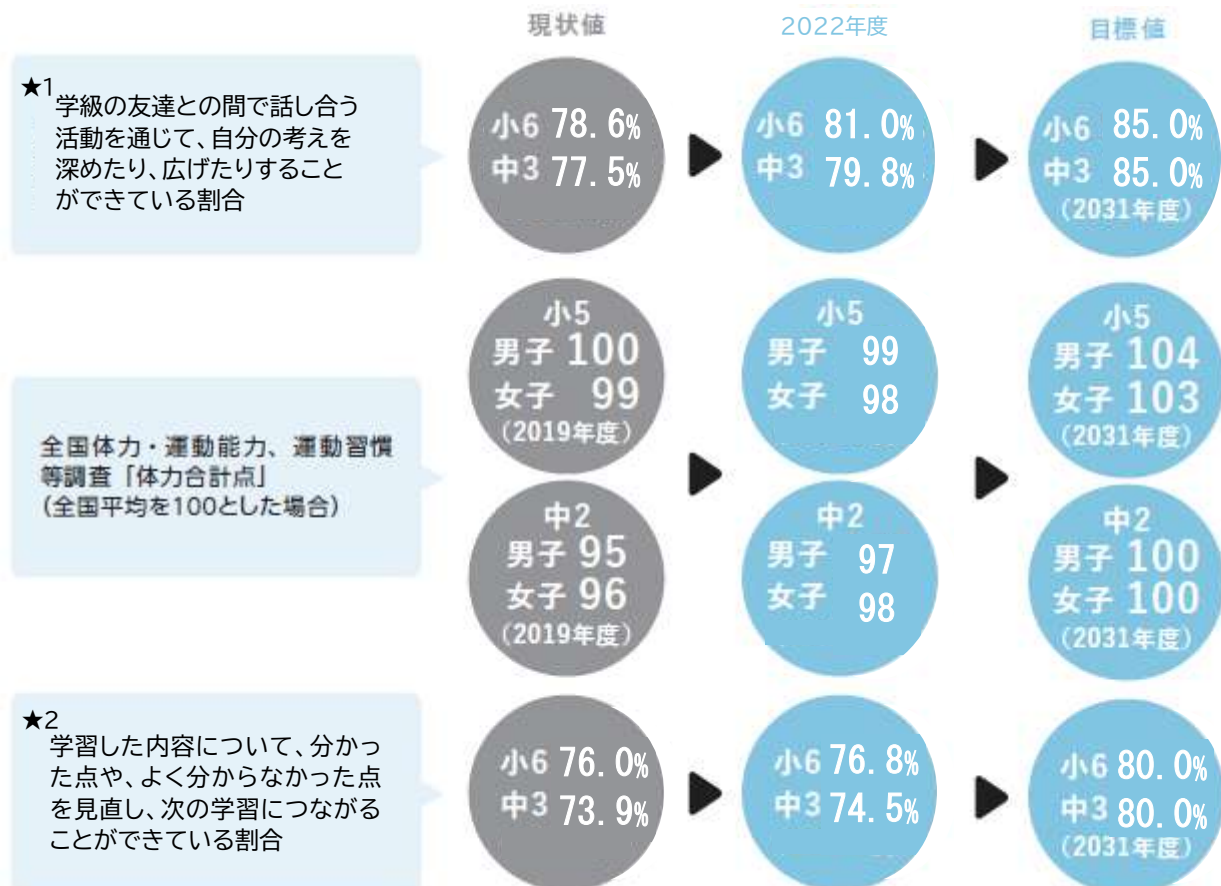
施策 **2-2**

## 学ぶ意欲を 育てる

施策実現によってなりたい姿

- 次代を担う子どもたちが、グローバル化やICTなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの社会において、夢や志を持ち、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができるようになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



\* ビジョン策定時、★1については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、★2については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

## 指標の経過

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（小6）



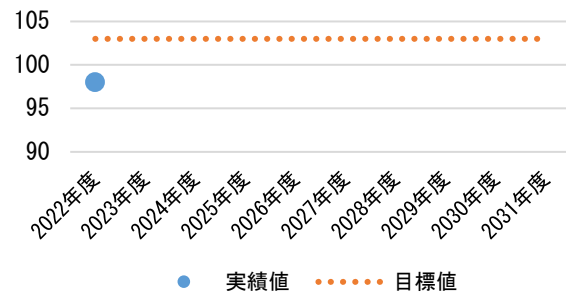
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（中3）



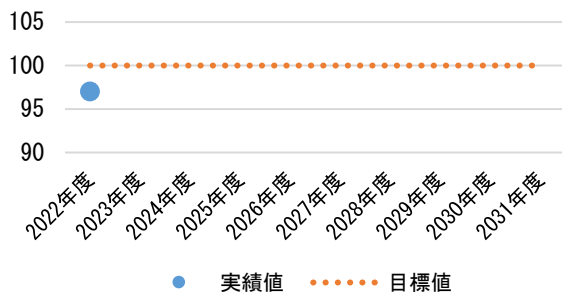
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
小5男子「体力合計点」  
（全国平均を100とした場合）



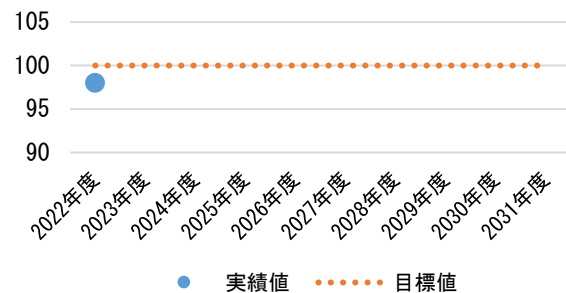
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
小5女子「体力合計点」  
（全国平均を100とした場合）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
中2男子「体力合計点」  
（全国平均を100とした場合）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
中2女子「体力合計点」  
（全国平均を100とした場合）





学習した内容について、分かった点  
や、よく分からなかった点を見直し、  
次の学習につながるができている  
割合（小6）



学習した内容について、分かった点  
や、よく分からなかった点を見直し、  
次の学習につながるができている  
割合（中3）



### 施策を実現するための重点事業

- えいごのまちだの推進
- ICT教育の充実
- 地域のスポーツ環境の充実
- キャリア教育の推進

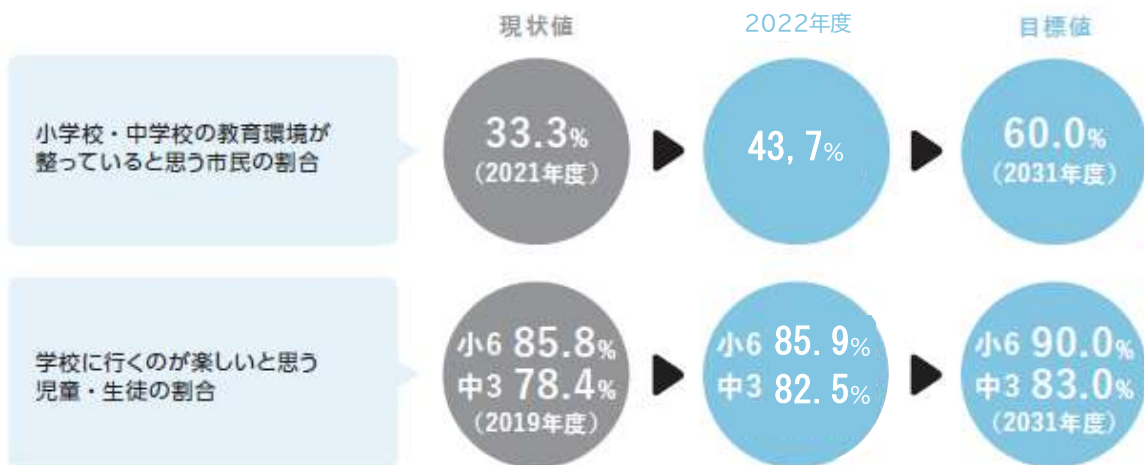
## 施策 2-3

# 教育環境を 充実させる

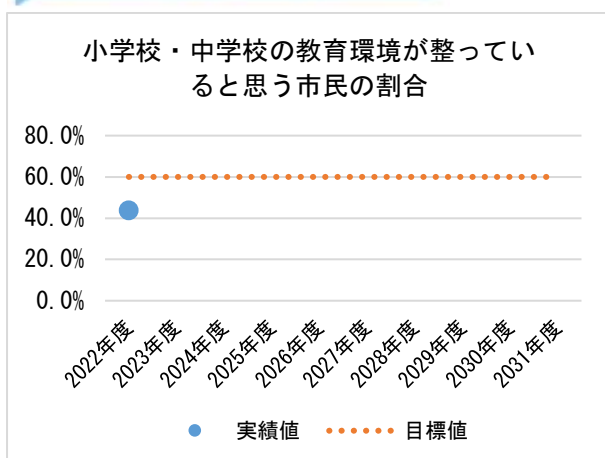
### 施策実現によってなりたい姿

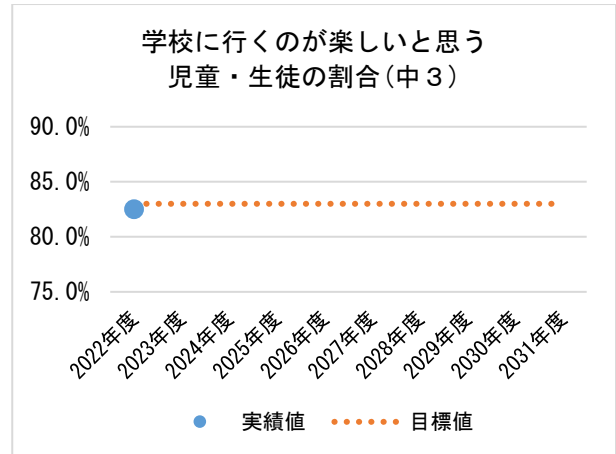
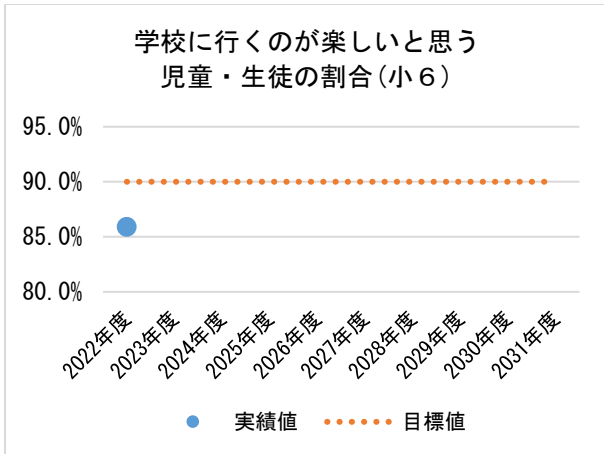
- 質の高い教育環境の下で、子どもたち一人ひとりの能力・可能性が育まれています。
- 子どもがいつでもどこでも誰でもそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過





#### 施策を実現するための重点事業

- 新たな学校づくりの推進
- 小学校施設の整備
- 特別支援学級の充実
- 中学校給食センターの整備
- 中学校施設の整備

#### コラム

#### コラム

#### 『新たな学校づくりとは』

#### ～子どもも大人も ともに学び、ともに育つ 学び舎～

町田市の児童・生徒数は、2040年度には2020年度に比べて30%減少すると推計しています。また、子どもたちが通う学校施設は、高度経済成長期に建設したものが多く、これから一斉に老朽化を迎えます。市では、このような問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるとともに、学校を地域の活動拠点として幅広く利用できる「新たな学校づくり」を進めています。

小・中学校で行われる義務教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自律的に生きる基礎を培い、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的としています。多様性が尊重されるこれからの社会で生きていく子どもたちにとって、狭い人間関係に閉じこもることなく、当たり前のように色々な人に出会い、触れ合う機会を設けることは大切です。そのため、小・中学校は一定の集団規模を確保することで、子どもたちが多様な考えに触れ、認め合うことなどを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていける場としていきます。

このような、1学年あたりの望ましい学級数の実現や、小規模な学校になることで起こる学校経営上の課題を解決するため、学校統合を含めた市内全域の通学区域の変更を行うことから、2040年度には市立小学校は42校から26校、市立中学校は20校から15校になります。

また、学校を取り巻く環境や教育内容・方法は時代とともに変化しており、読み書きや計算、知識や技能の習得のほかにも、協働的な学習で思考力、判断力、表現力を養うことが求められています。そのため、新たな小学校では、グループ学習や学年合同の学習などの多様な授業展開を可能にするオープンスペースを整備し、普通教室を約1.7倍の広さで使えるようにします。さらに、図書や視聴覚教材などのメディアを活用できるラーニングセンターを整備し、話し合いや発表などの協働的な学習を通して、子どもたちの思考力や表現力を育みます。また、授業で使わない時には、体育館や特別教室、校庭などを地域の方が活用できるようにします。



ラーニングセンターのイメージ

今後も、地域ごとの意見交換会や、保護者・地域の方・学校運営協力者・教職員で構成する基本計画検討会や基本計画推進協議会の開催、市民アンケートの実施など、子どもも含めた皆さんの意見を聞きながら、新たな学校づくりを進めていきます。

## 施策 2-4

# 地域の教育力を高める

### 施策実現によってなりたい姿

- 地域人材の経験やスキルをいかし、子どもたちが未来を生きる力を育むとともに地域人材の活躍の場を作り出す双方向の「連携・協働」型の活動が充実しています。

### なりたい姿の実現度を測る指標

学校は地域と一体となって子どもを育む場であると感じる保護者の割合



### 指標の経過

学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合 (小学校)



学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合 (中学校)



### 施策を実現するための重点事業

- 学校と地域の協働

コラム

## 『町田市コミュニティ・スクール』 ～地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指して～

町田市立小・中学校では、地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指して、2021年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）へ移行し、2023年度からは地域学校協働本部を全校に設置しました。

学校運営協議会は学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、市立小中学校に設置する合議体のことをいい、校長が作成した作成した学校経営方針・学校経営計画等の基本方針を承認する等の権限を持ちます。学校運営協議会の委員は、地域住民や保護者、学校で活動するボランティアをコーディネートするボランティアコーディネーター、まちとも関係者等を中心に構成されています。

地域学校協働本部は、副校長や地域連携担当教員、ボランティアコーディネーターが中心となり、学校運営協議会で承認された計画に基づいて地域学校協働活動を実施していくネットワークのことをいい、町田市コミュニティ・スクールでは学校運営協議会と地域学校協働本部が大きな柱となっています。

各学校で実施した地域学校協働活動は、学校運営協議会にフィードバックし、今後の活動や新たな取組をブラッシュアップしていきます。地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指していきます。

### ＜町田市コミュニティ・スクールのイメージ＞





胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

政策 /

3

## 自分らしい場所・時間を 持てるまちになる



2022 年度の主な成果

### 3-2 重点事業③

#### 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進

2020年4月に開園した町田薬師池公園四季彩の杜西園は、農産物直売所や町田産の食材を使ったカフェ・レストラン、ラボ・体験工房、四季ごとに特色のあるイベントを開催される芝生広場が魅力で、市内外から多くの方が訪れ、高い満足度を得ています。その効果により、2022年度の四季彩の杜全体での来園者数は延べ134万人と過去最高となりました。



### 3-2 重点事業⑥ 里山環境の活用と保全

里山で活動する団体への支援や働きかけを行い、未利用の山林約25,000㎡の活用を図りました。また、小山田エリアに整備する交流回遊拠点施設について、地域の住民とともに施設の役割や機能を検討し、施設のあり方や整備候補地の方向性を整理しました。



## 施策 3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

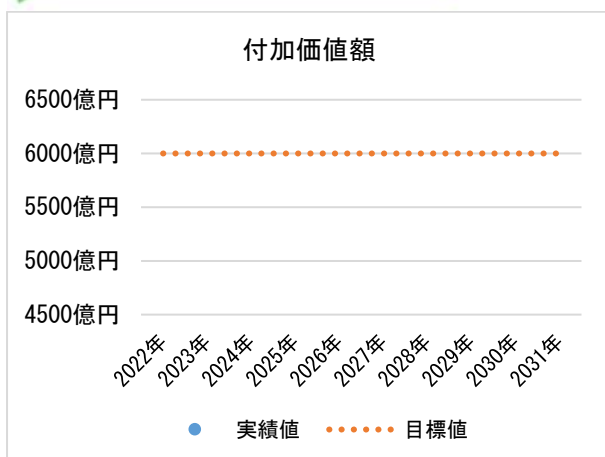
- 多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人にも選ばれるとともに、ビジネスに適した環境として、多くの事業者からも選ばれるまちになっています。
- 立ち上げる・拡げる・つなぐチャレンジの支援を通じて、起業・創業がしやすい風土が根付き、事業から新しい価値が生み出されるとともに、優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれるまちになっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2022年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 起業・創業の魅力を発信
- 事業者の次代を担う人材を育成
- 働きやすいまちづくりの推進
- 事業者の新分野・新技術への進出支援
- 円滑な事業承継の推進

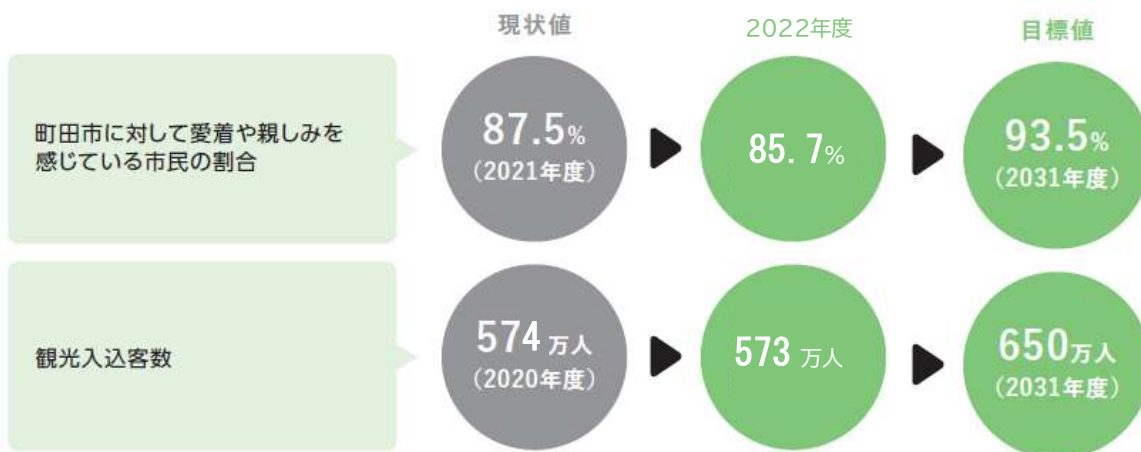
## 施策 3-2

# 町田ならではの 地域資源をいかす

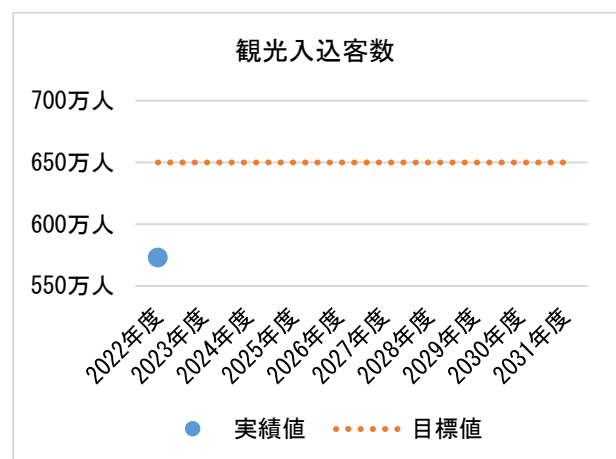
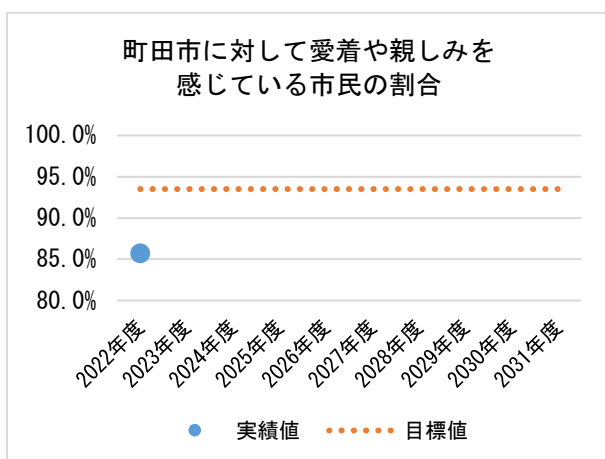
### 施策実現によってなりたい姿

- 子育て・教育や経済・観光、スポーツ・生涯学習、地域活動などのまちの魅力が、「町田ならではの地域資源」として認識されています。
- メディアや口コミ、WEB(SNS<sup>※</sup>)などを通して発信されることにより、市内外の人との交流が生まれ、町田に対する市民の誇り・愛着や市外からの関心・憧れが育まれています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過





## 施策を実現するための重点事業

- シティプロモーションの推進
- シティセールスの推進 コラム
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進
- 香山緑地の整備
- 身近に農のあるまちづくり
- 里山環境の活用と保全

## コラム

### 地域回遊イベント『まちだ謎解きゲーム』

『まちだ謎解きゲーム』は、新型コロナウイルス感染症の影響によりにぎわいや交流機会の創出に大きな影響があった観光スポットや商店街などの地域の活性化を後押しすることを目的に、町田市、町田市観光コンベンション協会、町田市商店会連合会の3者で開催したイベントです。



人気コンテンツである「謎解き」をしながら、中心市街地、町田薬師池公園四季彩の杜や南町田などの観光スポットや商店街を回遊するこのイベントは、SNSを中心に話題を呼び、謎解きファンだけではなく、10～30歳代の若い世代から支持され、第1弾（2022年7月～11月開催）と第2弾（2022年10月～2023年2月開催）を合わせて15,000人以上の参加があり、多くの人が町田市を訪れ、魅力に触れるきっかけになりました。

2023年度は、7月21日からの『まちだ謎解きゲーム』第1弾・第2弾の再演を皮切りに、新作の第3弾の開催を9月に予定しています。

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

＼ 政策 /

4

いくつになっても自分の  
楽しみが見つかるまちになる



2022年度の主な成果

#### 4-1 重点事業② 新たな図書館様式の推進

2022年10月に電子書籍サービスを導入しました。そのほか、デジタルデバイド解消のため、講座を7回実施し、個別相談会を20日開催し、館内閲覧用タブレット端末の貸出サービスを開始しました。

#### 4-2 重点事業② 野津田公園スポーツの森の整備

自然の中で楽しむ総合スポーツパークの実現のため、ナイター設備を完備したテニスコート4面の整備工事を実施し、計画通りに完了しました。



#### 4-2 重点事業⑤ ホームタウンチーム等の連携の推進

ホームタウンチームの認知度向上のため、新たにツイッターによる情報発信を開始しました。また、町田駅前デッキに横断幕・タペストリーを設置した他、市内の小中学校や公共施設に試合日程等のポスター掲示を行いました。ホームタウンチームの開幕前には、市庁舎1階イベントスタジオで応援ブースの開催や2階に横断幕の設置、職員が応援Tシャツを着用するなど、各チームのシーズン開幕に向けて気運醸成を図りました。これらの取り組み効果により、ホームタウンチームの認知度が目標値を上回る結果になりました。



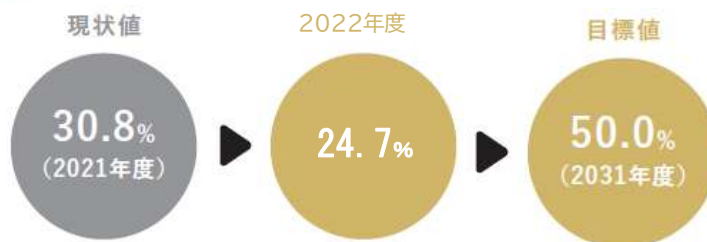
## 施策 4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

### 施策実現によってなりたい姿

- いつでもどこでも学習しやすい環境が整い、学びの機会を逃さないようになっています。
- 学びの成果を発信しやすく、受信しやすいようになっています。
- 学習資源のデジタル化が進むことにより、学びにアクセスしやすい環境になっています。

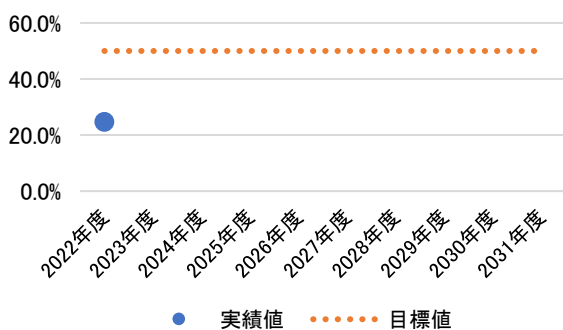
### なりたい姿の実現度を測る指標

生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合



### 指標の経過

生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合



### 施策を実現するための重点事業

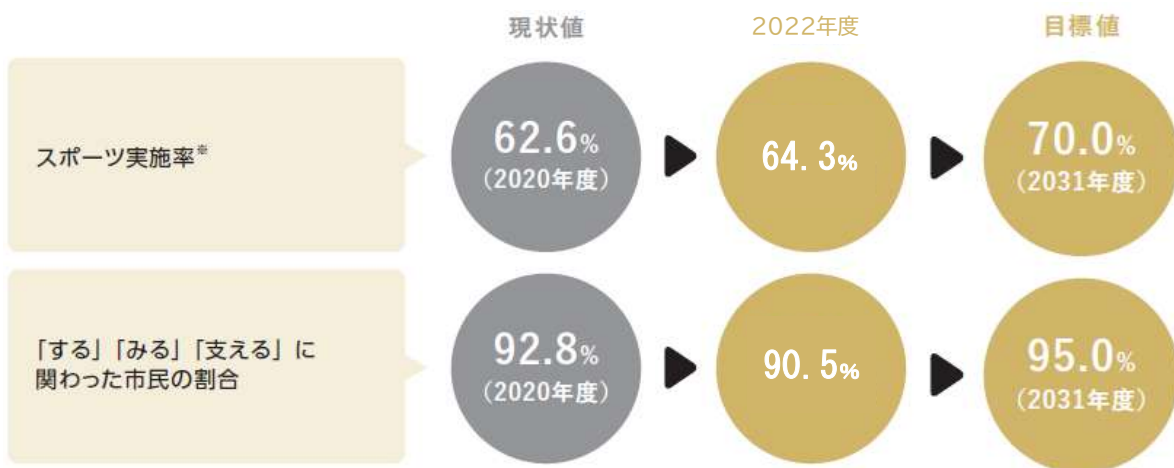
- ワタシが主役の図書館づくりの推進
- 新たな図書館様式の推進
- 新たな学びの支援

## 施策 4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

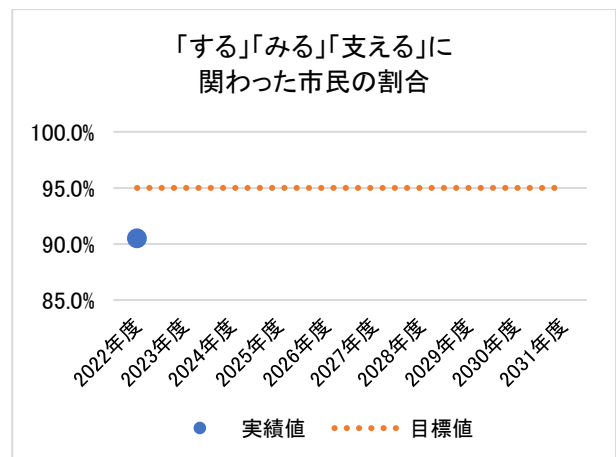
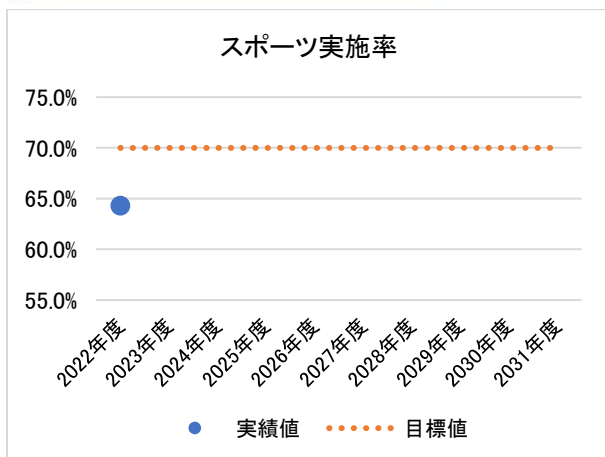
### 施策実現によってなりたい姿

- 「スポーツで人とまちが一つになる」を実現しています。
- 市民誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じて様々な主体が連携して、まちの賑わいと魅力が生まれ、市民の愛着・誇りが高まっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過





## 施策を実現するための重点事業

- 地域のスポーツ環境の充実（再掲）
- 野津田公園スポーツの森の整備
- スポーツをする場の環境整備
- 忠生スポーツ公園の整備 **コラム**
- ホームタウンチーム等との連携の推進

## コラム

### 『忠生スポーツ公園の整備』

#### 忠生スポーツ公園 (池の辺地区)



2023年9月、最終処分場の上部を活用した忠生スポーツ公園（池の辺地区）が先行していよいよオープンします。

園内には、芝生広場、複合遊具や健康遊具、500mのジョギングコースや散策路、3人制のバスケットボールコートやテニスの壁打ち場などが整備され、多世代が憩い体力づくりもできる公園となっています。

また、避難広場としても指定されています。



隣接した峠谷地区については、2032年度の開園に向け、最終処分場の安全対策の検討や施設配置の検討などを進めています。

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

政策 /

5

## 人生の豊かさを 実感できるまちになる



2022年度の主な成果



### 5-1 重点事業① 地域介護予防活動支援

地域で「町トレ」の活動を行うグループに対して、実技指導や体力測定等を行い、継続的な活動を支援しました。また、「町トレ」の効果や実施方法について、チラシやポスター、希望者への事業説明等を通じて周知を行ったことで、20グループが新たに活動を開始し、目標値186団体を上回る193団体が活動しています。

### 5-2 重点事業① 認知症の人やその家族の居場所づくり

認知症の人やその家族と地域との繋がりや、自分らしく過ごせる居場所づくりに取り組むため、ワークショップを市民向けに2回、学生向けに2回、合計4回実施しました。当初の予定より開催回数を増やしたことで、目標値30人を大きく上回る128人が参加しました。



### 5-2 重点事業② 介護人材の確保・育成・定着

町田市介護人材バンクにて、就職面接会、オンラインを含む就労相談や求職・求人アプリの運用などを実施した結果、目標値45人を上回る49人が就労しました。

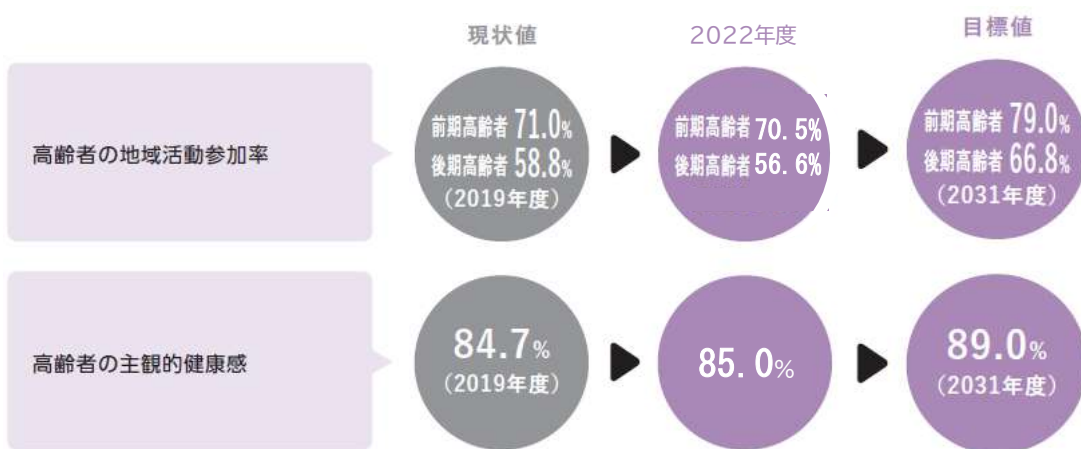
## 施策 5-1

# 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

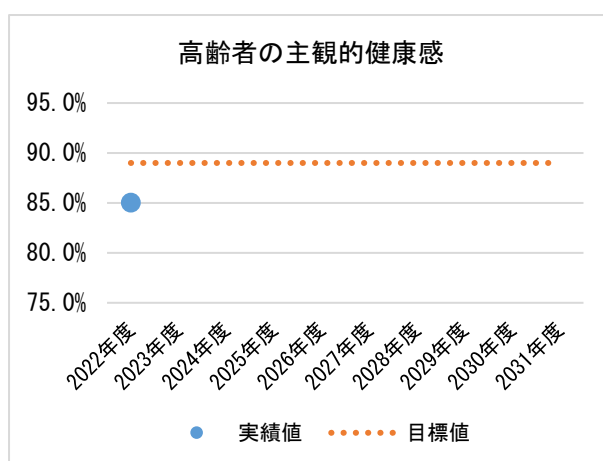
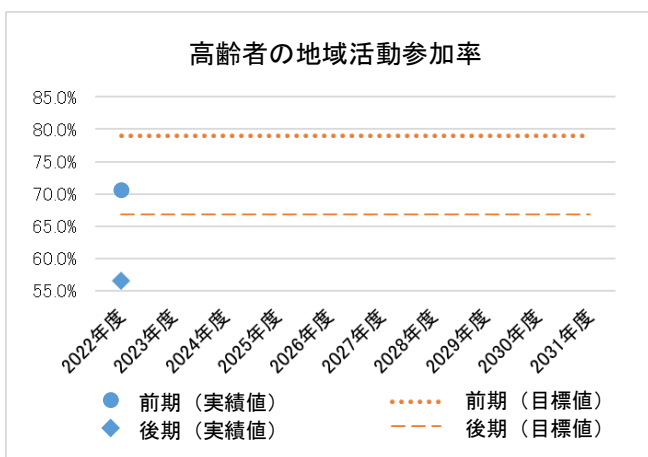
### 施策実現によってなりたい姿

- 高齢者が住み慣れた地域で、地域の一員としていきいきと暮らすことができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実

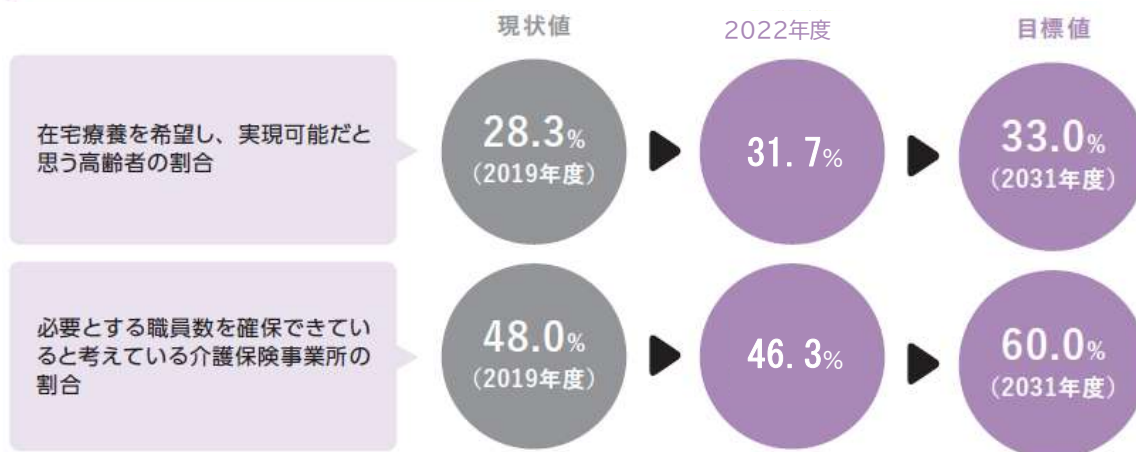
## 施策 5-2

# 高齢者を地域で支える体制をつくる

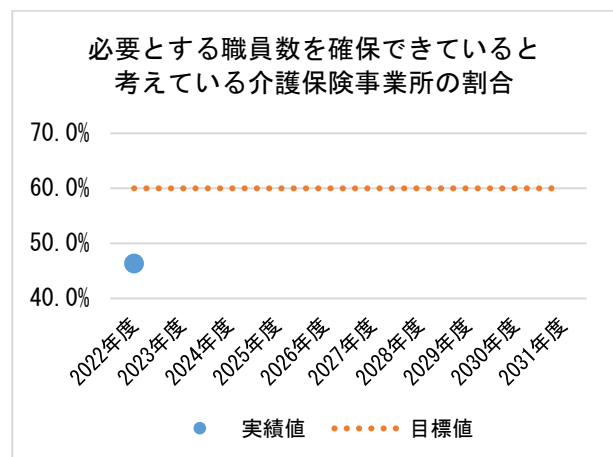
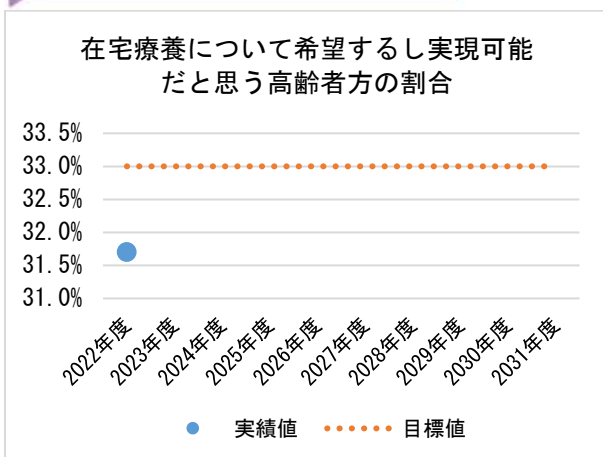
### 施策実現によってなりたい姿

- 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できています。
- よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 認知症の人やその家族の居場所づくり
- 介護人材の確保・育成・定着



# 全世代に向けて

政策 /

## 6

### つながりを力にする まちになる



2022 年度の主な成果



#### 6-1 重点事業① 地域活動団体支援

団体からの相談受付や講座によるニーズの把握、団体間の連携・協働の促進、組織基盤の強化のほか、町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」における情報発信のスキルアップ支援や出展に向けた団体の立ち上げ支援を行い、新たに42団体の活動の活性化につなげました。また、「まちカフェ！」を中心に、複数団体による協働イベントや学生ボランティアとのイベント開催などの新たな挑戦への支援を行いました。あわせて、自身の経験等を地域に役立てたい方と町内会・自治会とをオンライン上でつなぐ「まちの腕きき掲示板」を活用した町内会・自治会の困りごとへの支援を行い、新たに21件のマッチングを行いました。



#### 6-1 重点事業③

地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

2023年1月に相原地区及び小山地区の2地区に地域福祉コーディネーターを配置し、その活動拠点及び相談窓口として「まちだ福祉〇(まる)ごとサポートセンター堺」を1か所開設し、1～3月で153件の新規相談を受けました。



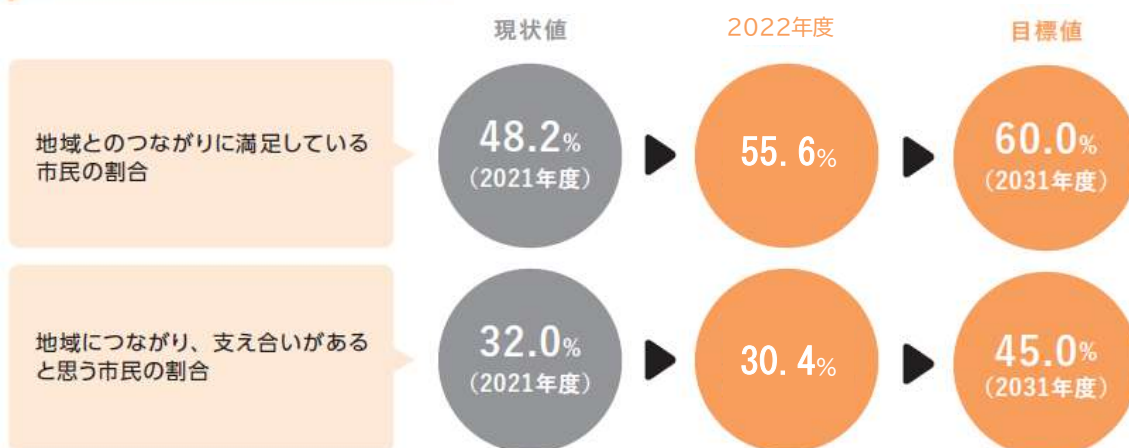
## 施策 6-1

# つながり、支え合える 基盤をつくる

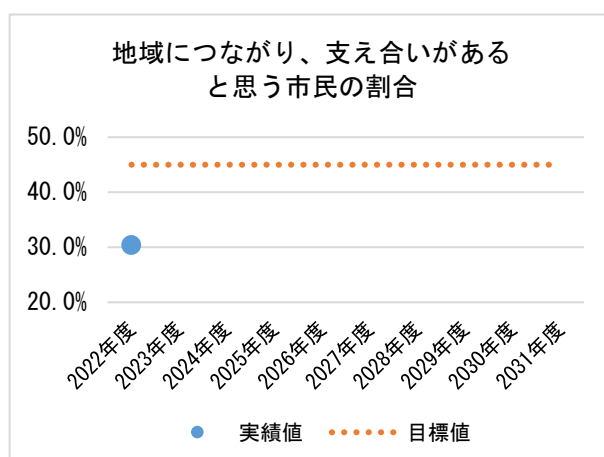
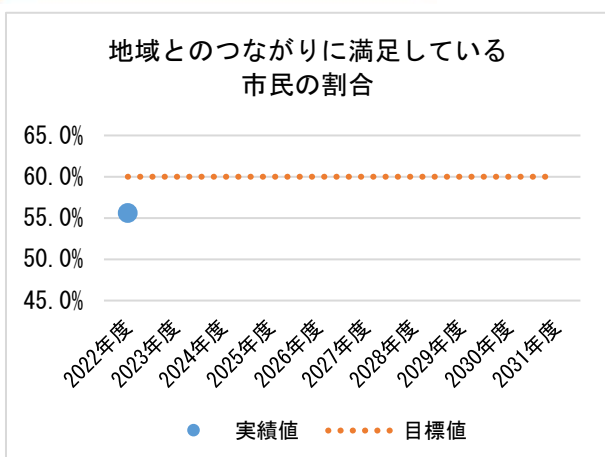
### 施策実現によってなりたい姿

- 地域や人との多様な関わり方がある中で、「自分ゴト」として地域活動への参加がしやすい状態になっています。個人の「やりたいこと」「できること」と地域ニーズとのマッチングが進み、より多くのつながりが創出されています。
- 市民、事業者、行政などが一体となって地域課題の解決に取り組むことで、新たなアイデアや活力が創出されています。
- 地域自らが地域の課題を把握し、支援につなげることができています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 地域活動団体支援（再掲）
- 町田市地域ホッとプランの推進
- ワタシが主役の図書館づくりの推進

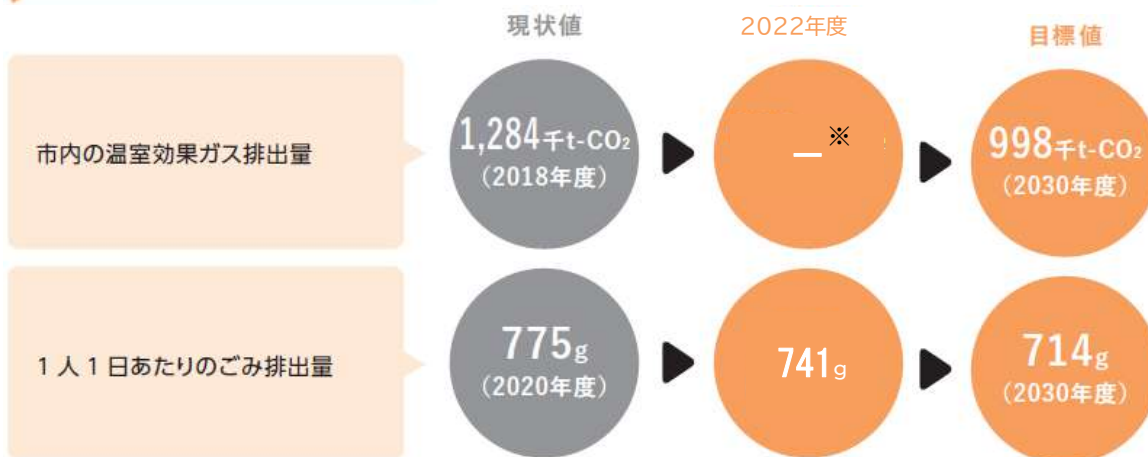
## 施策 6-2

# みんなで将来に受け継ぐ 持続可能な環境をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

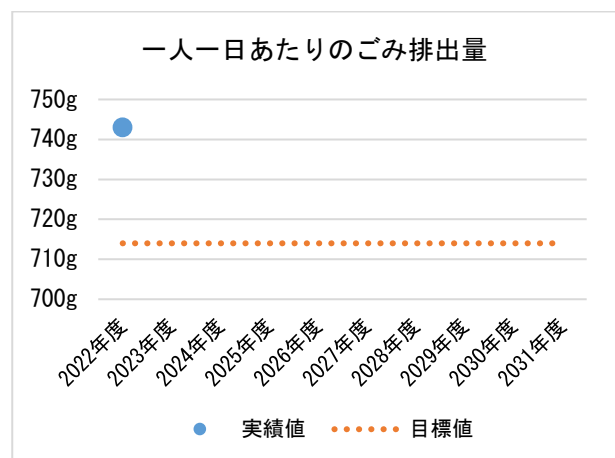
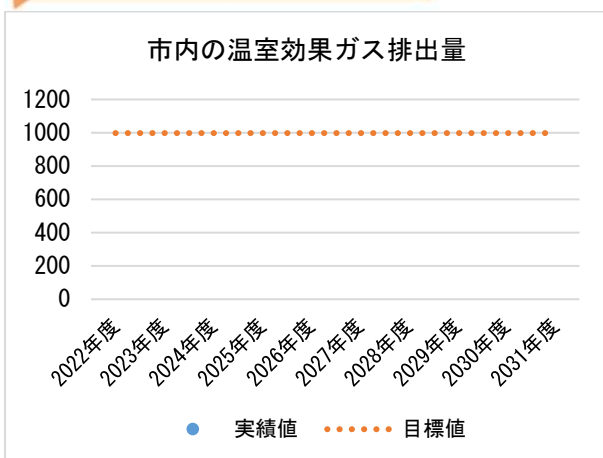
- 市民、事業者、行政が協力して、地球温暖化対策や生物多様性<sup>※</sup>の保全に取り組み、次の世代が暮らしやすい環境が受け継がれています。
- 市民、事業者、行政が協力して、ごみの発生抑制、適正処理、リサイクルを行っています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内の温室効果ガス排出量」の2022年度の数値は、本取り組み結果公表時点で未公表のため、「—（ハイフン）」としています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 地球温暖化対策の推進
- プラスチックごみの減量の推進
- 資源循環型施設の整備



# 全世代に向けて

政策 /

# 7

## ありのまま自分を 表現できるまちになる



2022年度の主な成果

### 7-1 重点事業① 性の多様性への理解の促進

コラム



「町田市性の多様性の尊重に関する条例」を制定し、本条例に基づく「町田市パートナーシップ宣誓制度」を導入しました（2023年4月1日条例施行）。また、2022年度から性の多様性に関する市民向け講座を開始したほか、人権週間に合わせパネル展示や庁内職員への意識啓発研修を行いました。

コラム

### 『性の多様性を理解し、一人ひとりを尊重するために』



性別に関わらず、誰もが自分らしく安心して暮らせるよう、「町田市パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。この制度は、同性の二人が自由意思により、お互いを人生のパートナーとして協力し合うことを約束した関係であると宣誓したことを、市が証明するものです。

具体的には、パートナーシップ宣誓をしようとする双方が、市の窓口にて宣誓書及び必要書類を提出した場合、市はこの宣誓に対して、パートナーシップ宣誓証明書を発行します。

この制度の導入により、性的マイノリティの方の困り事や生きづらさの軽減、差別や偏見の解消に加え、性の多様性に関する理解の促進につながっていきます。

また、この気球のイラストは、町田の魅力を発信し、町田の未来を考える若者グループ「町田創造プロジェクト（MSP）」に作成してもらいました。この作品には、多様性を尊重し、男女平等はもちろん男女だけでは表せない人たちがいることを理解してもらえるよう思いを込めています。第5次町田市男女平等推進計画やパートナーシップ宣誓制度の手引きへの挿絵など、多様性を象徴するイラストとして様々な場面で使用しています。

## 施策 7-1

# 一人ひとりの個性を大切に する地域をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

- 誰もが安心して快適に住み続けることができる地域社会になっています。
- 必要な人に、必要となる配慮や支援が届けられる環境が整っています。
- 一人ひとりの人権を尊重し認め合い、その人の個性と能力を十分に発揮することで、その人らしくいきいきと生きることができています。

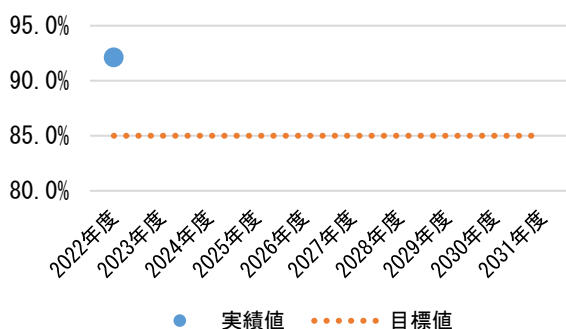
### なりたい姿の実現度を測る指標

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合



### 指標の経過

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合



### 施策を実現するための重点事業

- 性の多様性への理解の促進
- 障がい者差別解消推進
- 成年後見制度の利用支援



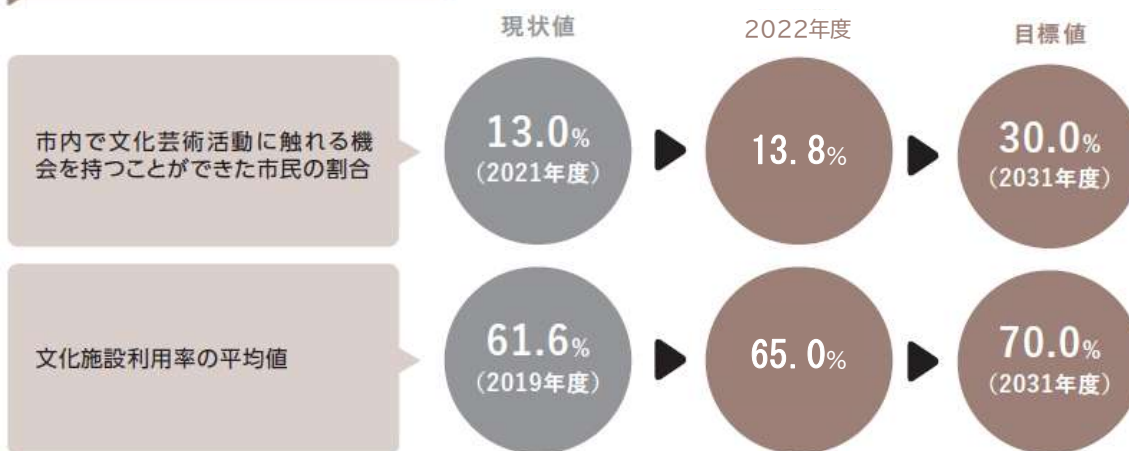
施策 **7-2**

## 文化芸術に親しめる 環境・機会を充実させる

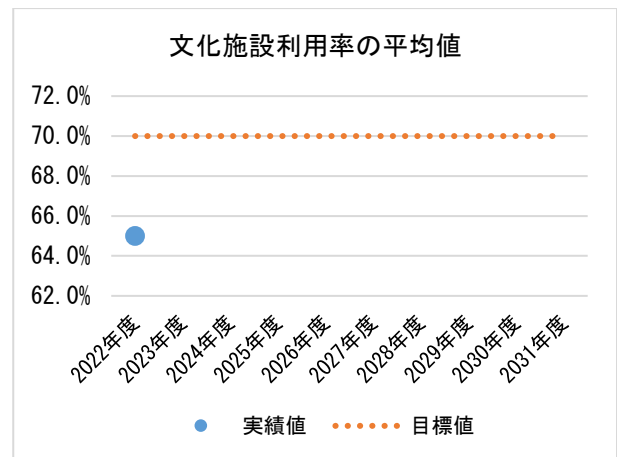
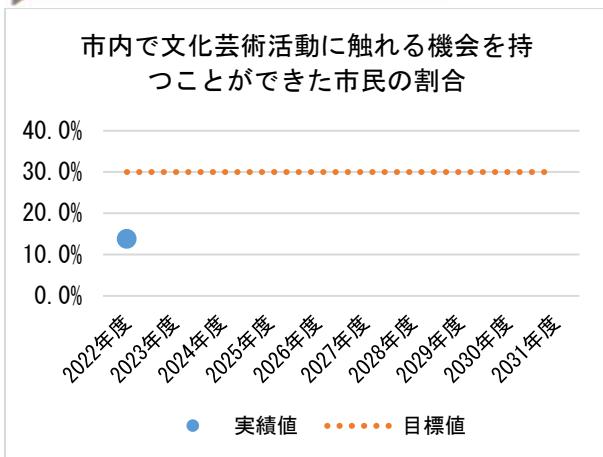
### 施策実現によってなりたい姿

- 「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」になっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標




### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備

コラム

公園全体がまるで大きなミュージアムのような “” を目指して

『<sup>フューチャー</sup>Future Park Lab<sup>パークラボ</sup>』

芹ヶ谷公園では、多様な文化芸術活動や公園の豊かな自然を体験し、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園 “パークミュージアム” を目指しています。「Future Park Lab」は、“パークミュージアム”の将来の姿をみんなで想像・創造し、体験するためのイベントであり、これまで様々な方と取り組んできました。



例えば、公園にあるトンネルを抜けた先に、いつもの公園の木々から、ゆかいな動物たちが顔をのぞかせる「アートな動物園」。公園内に大集合した動物たちを探しながら散策する楽しそうな子どもたちの声があちらこちらから聞こえてきました。

他にも子どもが紙で作った人形を、夜の公園に設置した大きなスクリーンに映してストーリーを作る「影絵のパフォーマンス」、町田出身アーティストや大学生による「青空コンサート」、車に積んだガラス炉でガラスのコップを作る「吹きガラスに挑戦!」、もみじが美しいエリアで子どもが作成した油絵の展示会「森の中でしゃべりだす子どもの油絵展」、園内掲示板に芹ヶ谷の自然を使ったデコレーションなど、「子ども」と「体験」を大切に、小さな子どもから大人まで文化芸術を楽しく、身近に感じられ、創作活動ができる空間づくりを進めています。そのどれもが、公園のどこでも文化芸術を気軽に感じられる空間となり、親子をはじめ、みなさんが、いつもと少し違う、アートに満ちた公園を楽しんでいただいています。



一方で、「公園でこんなことしてみたい、やってみたい」を実現する取り組みも行っており、市民企画の「ワンコと一緒に散歩ラリー」などでは、普段公園をワンちゃんとお散歩されている方々が、いつもと少し違う楽しみ方で参加されていました。公園の坂道で行う「世界最速の流しそうめん」、なんて企画もいいかもしれません。仲間を随時募集中です。

今後も、新しい文化が創造されていく場として、また、「町田の公園と言えば芹ヶ谷公園」と言ってもらえる公園づくりに向けて取り組んでいきます。



# 全世代に向けて

政策 /

## 8

### 思わず出歩きたくなる まちになる



2022 年度の主な成果



#### 8-1 重点事業⑥ 鶴川駅周辺のまちづくりの推進

「鶴川駅周辺再整備基本方針」で示した北口交通広場整備事業、南北自由通路整備・駅改良事業、鶴川駅南土地区画整理事業及び南口アクセス道路整備事業等の各事業について、計画通りに推進しました。

#### 8-1 重点事業⑦ 相原駅周辺のまちづくりの推進

「町田市相原駅東地区まちづくり構想」で示した東口へのアクセス道路整備、駅前広場・駅前街区整備の各事業について、計画通りに推進しました。



#### 8-3 重点事業⑧ 都市農地の保全活用の取り組み

「農作業体験プログラム」や「農の交流体験イベント」の実施、「野菜販売のマルシェ」の開催などの、市民と農をつなぐ「まちだベジハブ」の取組を通じて、多世代にわたって都市農地に関わる機会を創出したことで、農業体験に参加した市民の割合が目標値を上回る結果となりました。





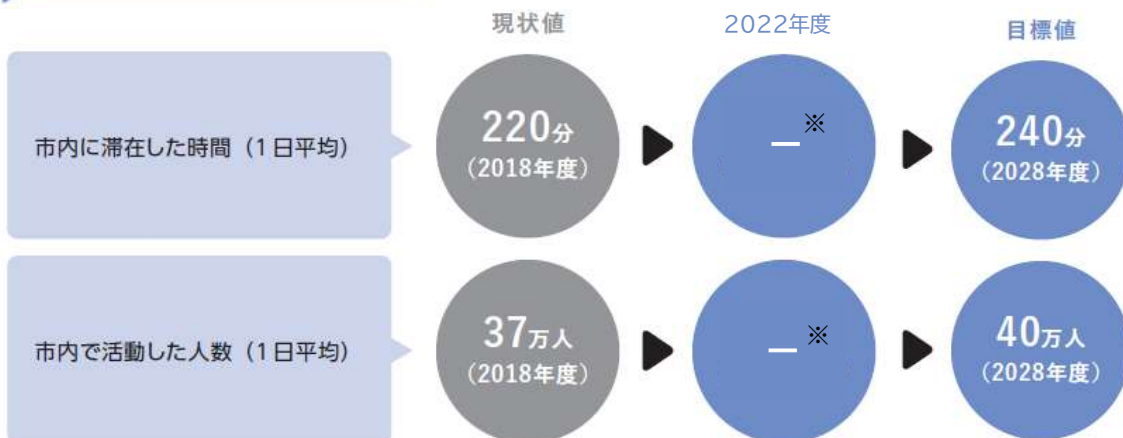
# 施策 8-1

## 気軽に外かけてつながれる環境をつくる

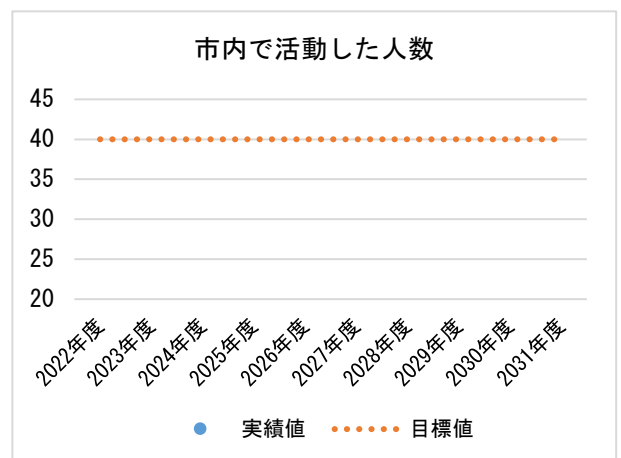
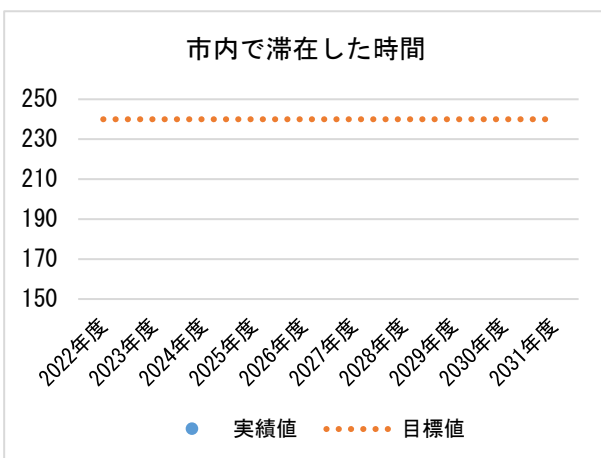
### 施策実現によってなりたい姿

- 多様な交通手段の中から自分に合った方法を選んで、目的地まで快適に移動ができています。多くの人々が市内への外出を楽しんでいると感じており、まちなかで活動する人が増えています。
- 日常生活に必要なモノ・サービスに簡単にアクセスできる環境が整っています。多くの人々が市内で活動する便利さや快適さを感じており、様々な活動の場として選ばれています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



※ 「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回パーソントリップ調査によって調査されており、2022年度は調査未実施のため「- (ハイフン)」としています。

### 施策を実現するための重点事業

- 小さな交通・地域で支える交通環境の整備
- 大きな・速い交通の整備
- 自転車利用環境の整備
- 都市計画道路の整備
- 準幹線道路の整備
- 鶴川駅周辺のまちづくりの推進
- 相原駅周辺のまちづくりの推進



## 施策 8-2

# ライフスタイルに合わせて 自分らしくまちを使えるようにする

### 施策実現によってなりたい姿

- 拠点駅の近くは「働く」「遊ぶ」「集う」「住む」など多様な使い方ができるとともに、歩く目的に溢れています。楽しい時間を過ごすことができ、新しいことが生まれ、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるようなまちが形成されています。
- 多様な選択肢から自分に合った住まいや働き方が選んでいます。市内だけでなく市外からもライフステージに合わせた住み替えが進み、多世代交流・共生のまちが形成されています。
- 身近な公園や農地などのオープンスペース<sup>\*</sup>を柔軟に使える環境と、多様な活動を推進する仕組みが整っています。多くの人々が身近なオープンスペースで思い思いに活動し、日常的にまちを使うことで地域への愛着が醸成されています。

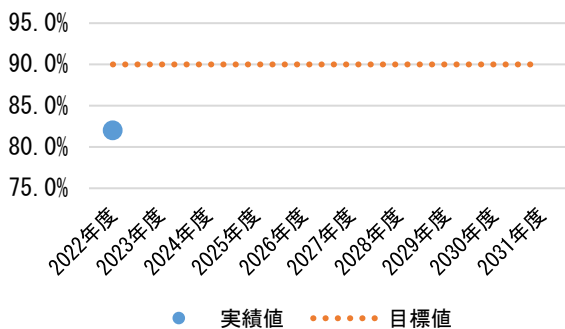
### なりたい姿の実現度を測る指標

自分が住む地域での生活に満足している市民の割合



### 指標の経過

自分が住む地域での生活に満足している市民の割合



### 施策を実現するための重点事業

- 団地再生の推進
- 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進
- 木曾山崎地区のまちづくりの推進
- 町田駅周辺地区のまちづくりの推進
- 中心市街地の賑わい空間の創出

## 施策 8-3

# 健やかで心地よい時間を 過ごせる環境をつくる

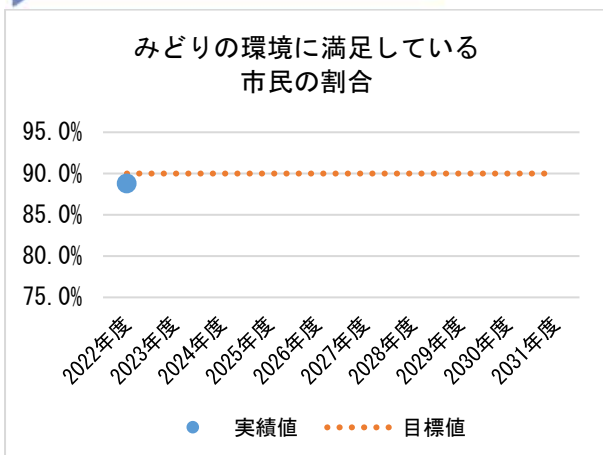
### 施策実現によってなりたい姿

- 地域の特色に合わせたみどりの空間づくりにより、多彩で豊富なみどりがまちを象徴する魅力の一つに育っています。多くの方がみどりの中で日常的に心地よい時間を過ごし、みどりを馴染み深い場所と感じています。
- みどり(公園、農地、里山など)を活用した地域住民の能動的な活動が促され、地域内資源の循環が促進されています。
- 都市農地<sup>※</sup>の保全と利活用により、農地の多面的機能が発揮されています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備 (再掲)
- 野津田公園スポーツの森の整備 (再掲)
- (仮称) 蓮田公園の整備
- (仮称) 大戸広場の整備
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進 (再掲)
- 香山緑地の整備 (再掲)
- 忠生スポーツ公園の整備
- 都市農地の保全活用の取組

# 全世代に向けて

＼ 政策 /

## 9

### みんなが安心できる 強いまちになる



2022年度の主な成果



#### 9-1 重点事業① 自主防災リーダーの育成

2023年3月に防災学習と各種訓練を提供するポータルサイトを立ち上げ、市民が防災に関する必要な情報を得られる環境を整えました。また、「在宅避難」をテーマに、2月は高ヶ坂・成瀬地区で備蓄トイレ体験等を、3月には忠生地区で掃除や整理・

整頓のついでに、誰でも取り組める減災活動「ぼうさいお片付け」を実施しました。

#### 9-2 重点事業① 協働パトロールの充実

定期的な協働パトロールに加え、親子、外国の方、学生など、新たな主体を迎え入れた協働パトロールも行いました。警察や地域団体とも連携を図り、目標値48回を上回る61回の協働パトロールを実施しました。



#### 9-2 重点事業② 交通安全ミーティングの推進

交通安全に関する疑問等を気軽に聞くことができるミーティングを行いました。子どもセンターの子ども委員会や高齢者支援センターの職員、障がい者を送迎する事業者などを対象として、目標値6回を大きく上回る計12回の交通安全ミーティングを実施しました。





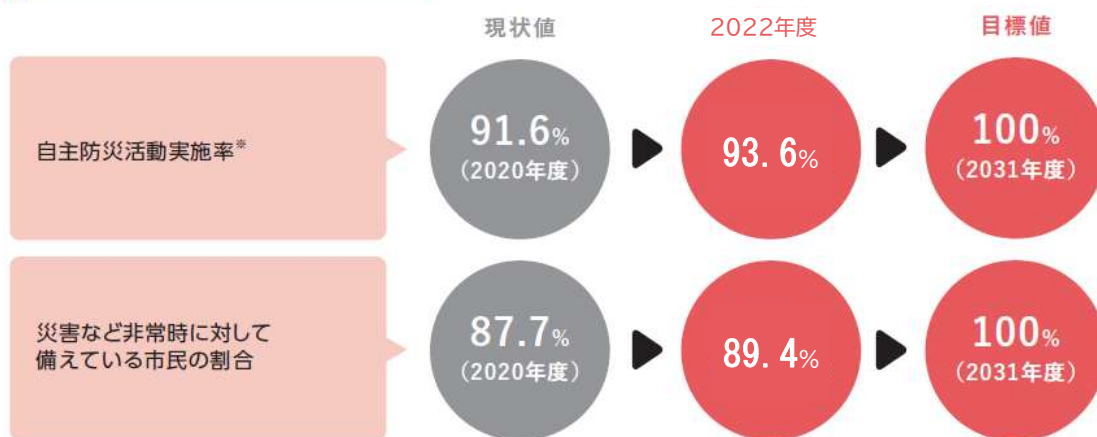
## 施策 9-1

# ひと・まちを 災害に強くする

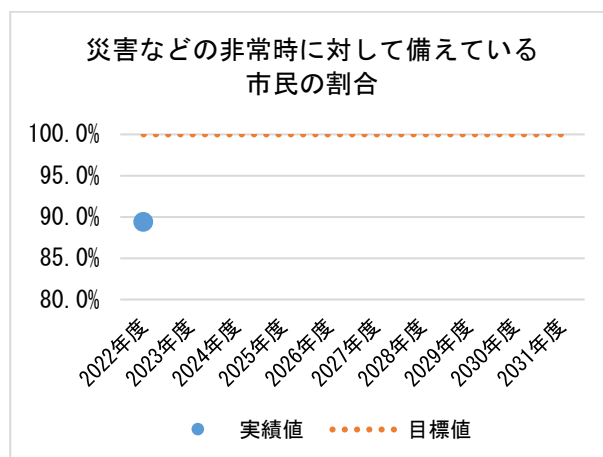
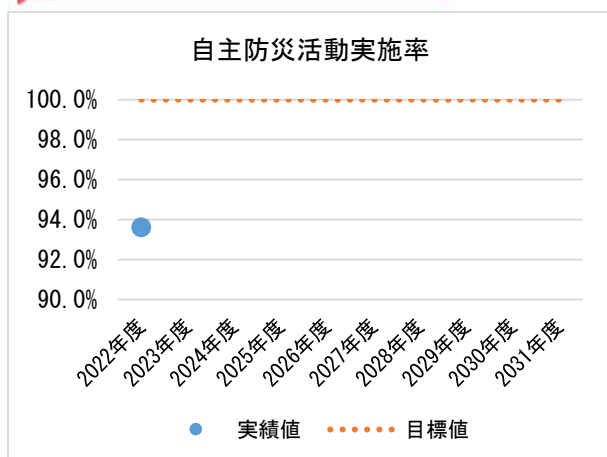
### 施策実現によってなりたい姿

- 市民一人ひとりが、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に積極的に参加することで、地域一丸となって災害に対応する体制が整っています。また、道路などの各種インフラが整備され、災害復旧時に有効活用されています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

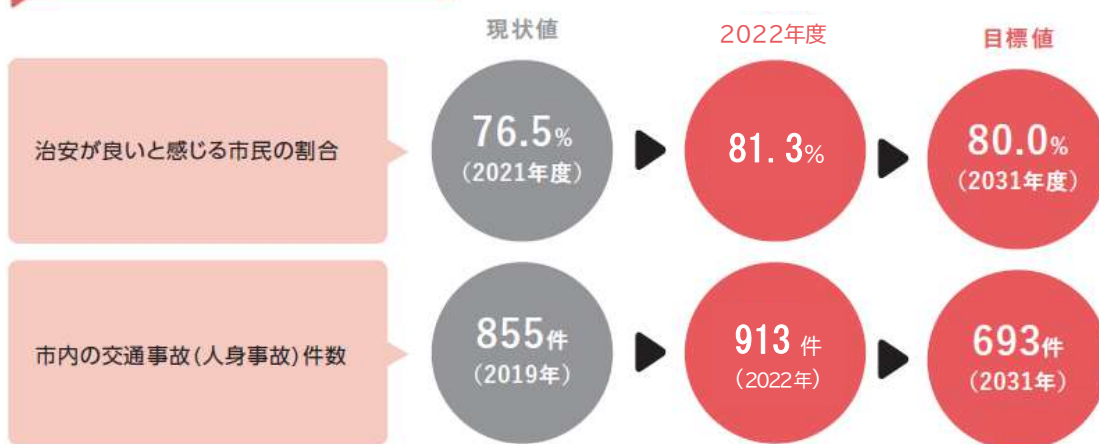
- 自主防災リーダーの育成
- 地震対策（雨水管の耐震化）
- 浸水対策の推進
- 住宅の耐震化の促進
- 避難行動要支援者の避難支援体制整備
- 地震対策（下水道処理施設の耐震化）
- 無電柱化の推進
- 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進

## 施策 9-2 地域の安全を守る

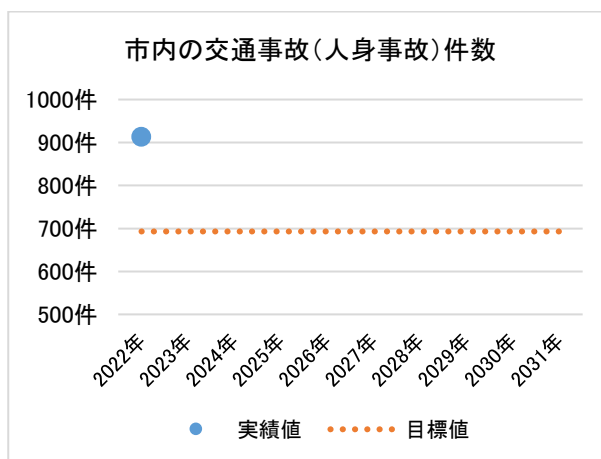
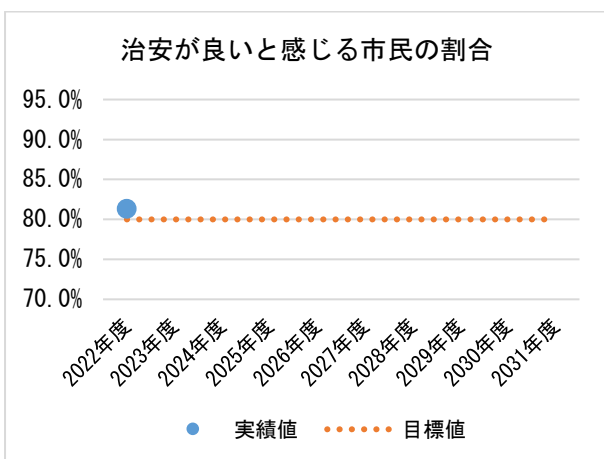
### 施策実現によってなりたい姿

- 町田市で暮らす人が安全に生活でき、町田市を訪れる人が安心して訪れることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 協働パトロールの充実
- 交通安全ミーティングの推進
- 踏切道の改良
- 道路安全設備の緊急更新
- 自転車利用環境の整備

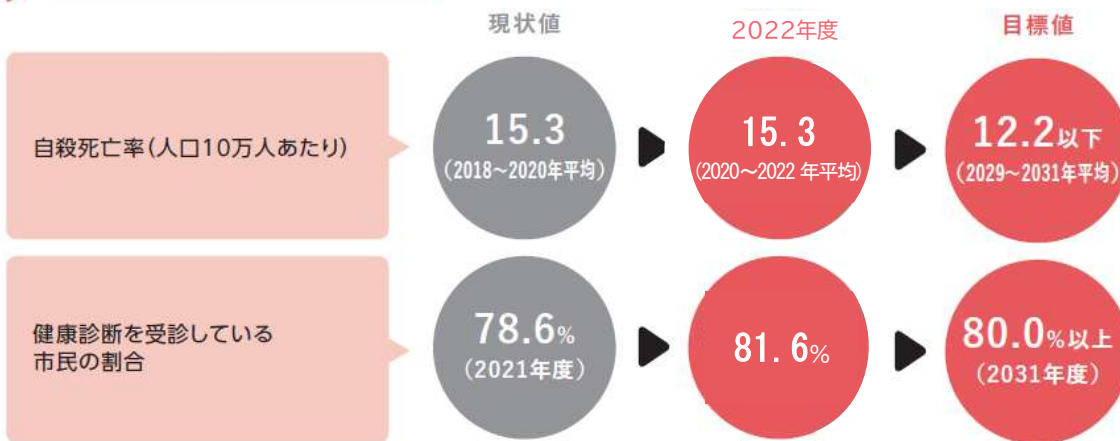


# 施策 9-3 市民の健康を守る

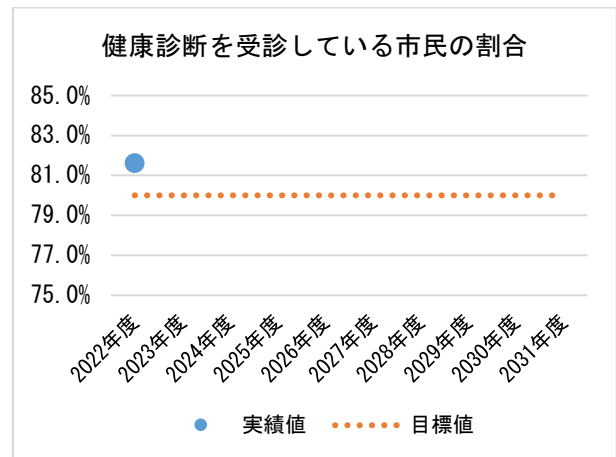
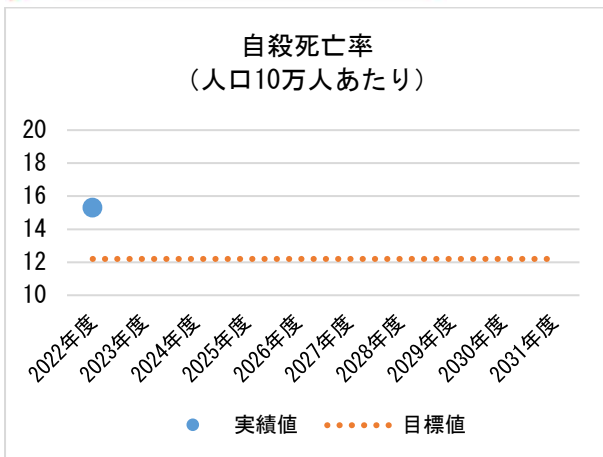
## 施策実現によってなりたい姿

- 心や体の健康が脅かされる危機が発生したときに、市、市民、関係機関などが相互に理解、協力をして健康を守れるようになっています。

## なりたい姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 心と体の健康推進

# 経営基本方針

### 3 経営基本方針の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「経営基本方針」及び、町田市5ヵ年計画22-26の「経営改革プラン」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

#### (1) 経営基本方針の到達状況

各基本方針に設定した指標の目標値に対する2022年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

基本方針	現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2022年度)
<b>基本方針1 共創で新たな価値を創造する</b>			
必要な時に必要な情報を入手できていると思う市民の割合	58.9%	70.0%	63.3%
行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合	49.1%	75.0%	57.1%
多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数(累計)	-	100件	81件
<b>基本方針2 対話を通して市役所能力を高める</b>			
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	72.6%	85.0%	81.1%
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合	89.7%	90.0%	90.9%
自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合	77.0%	90.0%	87.1%
職員の職場満足度	76.2%	80.0%	-
<b>基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する</b>			
経常収支比率	91.9%	↓	91.2%
実質公債費比率	0.5%	→	1.0%
財政調整基金年度末残高	90億円	90億円	106億円
公共施設の利用者満足度	89.9%	90.0%	71.0%

※上記一覧表の「市民の割合（〇〇している市民の割合）」の指標については、「2022年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2022年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

(2) 経営改革プランの取り組み結果

各取り組みで設定する、それぞれの指標の2022年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

<「取り組み結果」の考え方>

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して100%以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の100%未満の実績値の場合）

\*「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100%を超える場合にも100%を上限としています。

2022年度の目標達成率・・・99%

\*「2022年度の目標達成率」は、全取り組みの達成率の平均から算出しています。

\*2022年度時点で取り組み未実施及び、実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

\*定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を50%としています。

基本方針1 共創で新たな価値を創造する					
改革項目1-1 情報の双方向性を高める					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 顧客に合わせた情報発信の拡充	99%	広報活動の市民満足度	△ (99%)	69.0%	68.2%
		情報発信する場の提供累計回数	○ (100%)	6回	9回
2 緊急時における情報発信の強化	100%	新たな情報提供体制の構築・運用開始	○ (100%)	検討	検討・構築開始
		広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	○ (100%)	運用方法の検討	運用開始
3 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	100%	大学と連携した対応記録の分析累計回数	○ (100%)	1回	1回
		無作為抽出アンケートの累計調査回数	○ (100%)	2回	2回
		デジタルを活用した新たな仕組みの導入	○ (100%)	導入のための業務見直し	導入のための業務見直し
		Webアンケートの累計調査回数	○ (100%)	12回	22回
オープンデータの充実	100%	公開データファイル累計件数	○ (100%)	787件	887件
		ダウンロード件数	○ (100%)	2021年度より増	516,574件
改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 マイナンバーカードの普及及び利用促進	99%	マイナンバーカード交付率	△ (96%)	70%	67.5%
		出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	○ (100%)	25回	114回
		コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書等)	○ (100%)	24%	32.0%
		コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	○ (100%)	17%	23.3%
2 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	100%	“e-まち”実現プロジェクトの取組累計件数	○ (100%)	38件	81件
		オンライン化した手続累計件数	○ (100%)	213件	275件
		情報セキュリティ外部監査の実施率	○ (100%)	100%	100%

基本方針1 共創で新たな価値を創造する

改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 共創による地域社会づくりの推進	100%	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	○(100%)	55事業	81事業
		地域活動にかかわった関係者の数	○(100%)	1,750人/年	4,515人/年
		共創・協働を意識している職員数	-	-	-
2 外部意見の活用	100%	委員会からの助言・提言の市政への反映累計数	○(100%)	5件	6件
		包括外部監査実施方法の見直し	-	-	-
		包括外部監査の措置率(過去5カ年の措置率)	○(100%)	90%	98.5%
3 市政モニタリングの実施	100%	市民参加型事業評価の開催	○(100%)	開催	開催
		市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	-	-	-
		CFO新規実施累計事業数(既存事業の改善含む)	○(100%)	2事業	2事業
4 非常時に備えた組織体制の構築	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○(100%)	1回	1回
		地域防災計画及び事業継続計画修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
		町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○(100%)	感染症対応の評価	感染症対応の評価

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める

改革項目2-1 強しなやかな組織を構築する

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 事務事業の見直し	100%	業務改善プロジェクトの実施累計業務数	○(100%)	3業務	3業務
		デジタル技術を活用した改善業務累計数	○(100%)	35業務	132業務
2 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	100%	職員定数	○(100%)	2,213人	2,211人
		事務決裁規程の見直し	○(100%)	意思決定水準の検討	意思決定水準の検討
3 非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○(100%)	1回	1回
		地域防災計画及び事業継続計画修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
		町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○(100%)	感染症対応の評価	感染症対応の評価
4 市税業務改革	100%	税務3課における業務改善の取組事例累計数	○(100%)	1件	3件
		包括外部委託の活用	○(100%)	一部実施(市民税課)	実施(納税課) 一部実施(市民税課)
5 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	100%	民間委託及び事務の統合	○(100%)	検討・契約準備	検討・契約準備・実施方針策定
6 学校給食業務の運営体制の最適化	100%	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	○(100%)	26校	26校
7 学校用務業務の運営体制の最適化	100%	修繕等における用務職が対応する割合	○(100%)	77%	77%
8 学校事務業務の運営体制の最適化	100%	学校事務職員における正規・再任用の職員数	○(100%)	21人	19人
9 小中学校における学校経営の支援	100%	学校徴収金の公会計化	○(100%)	準備	準備
		中学校給食費の公会計化	○(100%)	準備	準備
		副校長補佐を配置する学校の累計数	○(100%)	25校	25校
10 市民センター等における最適なサービスの構築	100%	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	○(100%)	検討	検討・実施
		民間協働により管理運営する施設累計数	-	-	-



基本方針2 対話を通して市役所能力を高める

改革項目2-2 未来を創る職員を育てる

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
職員が能力を発揮できる職場環境づくり	99%	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	○ (100%)	26市平均値以下	3.2% (2021年度26市平均値3.5%)
		年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	○ (100%)	26市平均値以上	17.1日 (2021年度26市平均値13.8日)
		係長職に占める女性職員の割合	△ (95%)	35%	33.3%
		障がいのある職員の採用後1年以内の離職者数	○ (100%)	0人	0人
人材の確保と育成の推進	100%	採用試験の見直し	○ (100%)	2021年度の見直しに基づく試験の実施	2021年度の見直しに基づく試験の実施
		「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	-	-	-
		「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	-	-	-
		「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	○ (100%)	76%	85.1%

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 行政評価シートのさらなる活用	100%	費用対効果が改善した事業の割合	○ (100%)	38%	74.6%
		課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	○ (100%)	90%	97.8%
2 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	100%	実質公債費比率	○ (100%)	1.3%	1.0%
		市債年度末現在高	○ (100%)	942億円	906億円
		財政調整基金年度末残高	○ (100%)	80億円	106億円
3 受益者負担の適正化	100%	基本方針の検証	○ (100%)	検証	検証
		受益者負担の見直し	○ (100%)	実施公表	実施公表
4 国民健康保険事業財政の健全化	100%	赤字額(新型コロナウイルス感染症影響分を除く)	○ (100%)	20.6億円	20.3億円 (決算見込値)
5 下水道経営基盤の強化	100%	モニタリング評価分析及び計画の見直し	○ (100%)	モニタリング評価分析	モニタリング評価分析
6 病院事業の経営改善の推進	96%	経常収支比率	○ (100%)	98%	101.5%
		5日以上有給休暇取得率(医師)	△ (92%)	97%	89.2%
7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保	100%	市庁舎の有効活用累計件数	○ (100%)	14件以上	14件以上
		市庁舎のCO2排出量	○ (100%)	1,829t	1,719t
		使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	○ (100%)	8件	9件
8 新たな資金運用の推進	98%	債券運用による運用益	△ (98%)	28,628千円	28,093千円
9 道路アセットマネジメントの推進	100%	橋梁の維持管理、ベデストリアンデッキの維持管理	○ (100%)	新技術の活用検討計画改定	新技術の活用検討計画改定
		トンネル・横断歩道橋の維持管理	○ (100%)	新技術の活用検討計画策定	新技術の活用検討計画策定
		街路樹の維持管理	○ (100%)	調査・検討 植替え・撤去の実施	調査・検討 計画策定 植替え・撤去の実施
		街路灯柱等の維持管理	-	-	-

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

改革項目3-2 市有財産を利活用する

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 公共施設再編の推進	89%	短期再編プログラムの取組達成率	△ (67%)	66%	44%
		中期再編プログラムの策定	○ (100%)	-	-
		2つの保健施設の集約	○ (100%)	基本計画検討	基本計画検討
		教育センターの複合化	○ (100%)	基本計画策定	基本計画策定
2 公共施設の管理運営手法の最適化	100%	中期修繕計画の改定	○ (100%)	調査・検討	調査・検討
		施設管理運営手法の導入	○ (100%)	調査	調査
		三次元化した建物情報モデル(BIM)の作成システムの導入	○ (100%)	調査・検討	調査・検討

(3) 経営改革プランの効果額一覧

改革項目名		主 な 内 容	効果額 (千円)
1-1-1	顧客に合わせた情報発信の拡充	市民、団体、事業者と連携して情報発信する取組を開始し、広告費を削減しました。	81,408
1-2-1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	マイナンバーカードを利用し、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの利便性をPRした結果、窓口での証明書の交付に係る人件費を削減しました。	211,071
1-2-2	デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	行政手続のオンライン化、介護認定業務のデジタル化、Web口座振替受付サービスの導入等により、業務を効率化し、職員の人件費等を削減しました。	174,913
2-1-1	事務事業の見直し	事務事業の見直しやRPAなどのデジタル技術の活用などにより、職員の人件費を削減しました。	144,665
2-1-2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	職員定数の見直しにより、職員の人件費を削減しました。	195,360
2-1-4	市税業務改革	市税徴収補助業務委託により、職員の人件費を削減しました。	11,900
2-1-6	学校給食業務の運営体制の最適化	小学校における給食調理業務を業務委託することにより、職員の人件費を削減しました。	12,424
2-1-8	学校事務業務の運営体制の最適化	常勤一般職員及び再任用職員の退職に伴う、会計年度職員の配置及び学校事務職員体制の見直しにより、人件費を削減しました。	20,160
2-2-1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	業務効率化を図ることで、時間外勤務時間を削減しました。	79,311
3-1-4	国民健康保険事業財政の健全化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	110,000
3-1-5	下水道経営基盤の強化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	108,845
3-1-7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	ふるさと納税やクラウドファンディング、市有財産貸付による有効活用等により、効果的な市歳入の確保及び歳出削減に努めました。	449,514
3-1-8	新たな資金運用の推進	資金管理計画を踏まえた債券運用を行うことにより、利益が生じました。	28,093
3-1-9	道路アセットマネジメントの推進	街路樹に関して、植替えや撤去を計画的に行ったことにより、維持管理費を削減しました。	122,000
合 計			1,749,664

## 目標の達成状況と 主な成果

## 共創で新たな価値を 創造する



### 2022年度の主な成果

#### 1-2-1 マイナンバーカードの普及及び利用促進

- ・ マイナンバーカードセンターの平日夜間（一部の日程）と土日開所、各市民センターの土曜臨時開庁に加え、市内のショッピングモールや各市民センターなどにおいて、出前申請受付を 88 回実施するなど、マイナンバーカードの交付体制を強化しました。
- ・ マイナンバーカードを利用し、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの利便性を、ホームページ、広報紙、来庁者への利用案内資料などでPR しました。
- ・ これらの取り組みの結果、3 月末時点のコンビニ交付率は 32.04%となり、2021 年度末の実績（23.92%）より 8.12 ポイント上昇しました。

#### 1-2-2 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・ タブレット端末を活用した訪問調査や、要介護認定審査会資料の電子化といった介護認定業務のデジタル化や、市税や保険料等の口座振替をインターネット経由で申し込むことができる Web 口座振替受付サービスの導入等を実施しました。
- ・ LINE などのオンライン申請サービスを活用し、課税非課税証明書の交付申請、新型コロナウイルスワクチン接種券の再発行申請など、87 件の行政手続のオンライン化を実施しました。

#### 1-3-1 共創による地域社会づくりの推進

- ・ 各地区協議会を中心に、市民や地域活動団体、事業者などさまざまな背景の方々を招き、地区別懇談会を開催し、全 10 地区で 617 人の参加がありました。その後、地区別懇談会で出たアイデアを具体化するために地区ミーティングを開催し、地域の居場所づくりや多世代交流といったプロジェクトが生まれました。
- ・ 地域、企業、行政といった多様な主体が地域の課題解決を図るプロジェクトである「まちだをつなげる 30 人」を実施し、地域人材交流やまちの魅力発信といった、地域の課題解決のためのプロジェクトが誕生しました。

#### 1-3-3 市政モニタリングの実施

- ・ 2022 年 11 月に、発災時の情報伝達・地域連携や子どもの居場所づくり・異年齢交流などの 6 事業を対象とした、市民参加型事業評価を開催しました。
- ・ 開催にあたっては、6 名の高校生評価人が評価対象事業の選定から改善プログラムの検討に至るまで関わり、子ども・若者の意見を取り入れた評価を実施しました。また、YouTube やメタバースを活用したライブ配信を実施するなど、市民の参加や意見の表明のしやすさについて工夫しました。

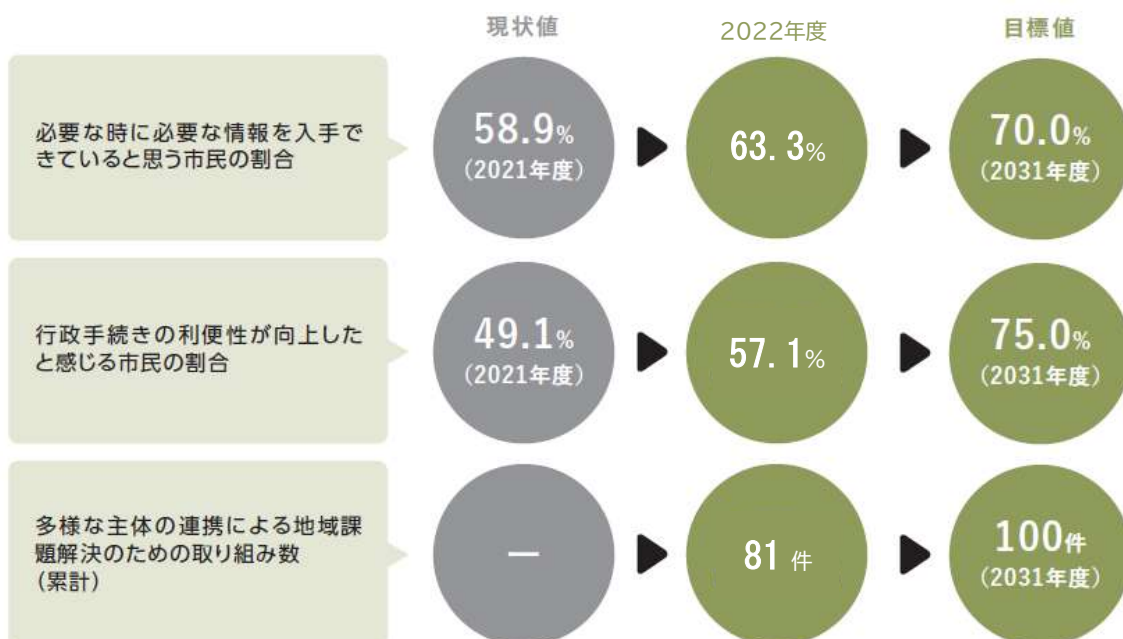


# 基本方針 1 共創で新たな価値を創造する

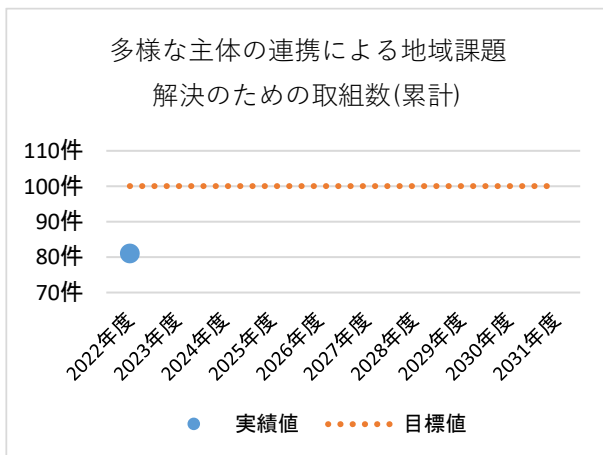
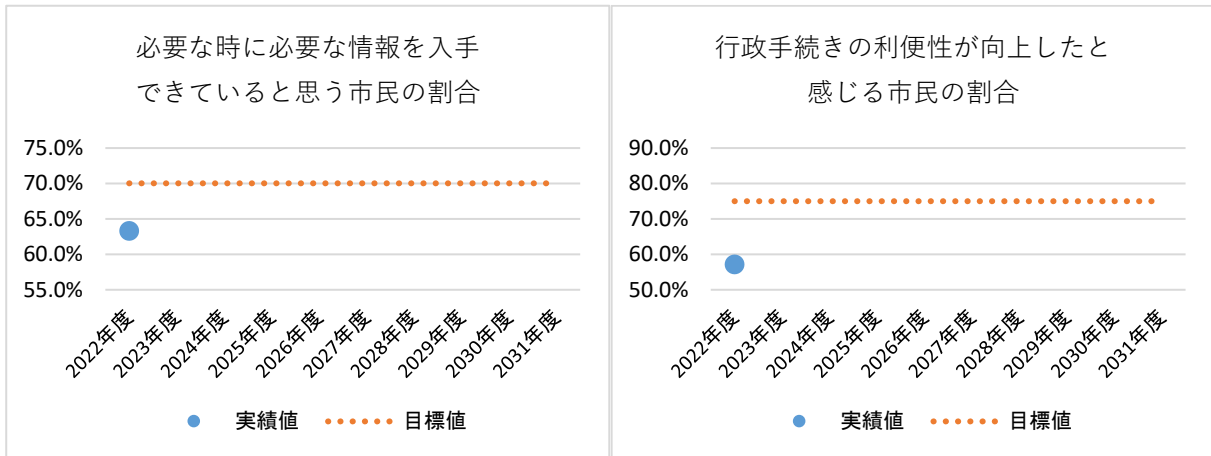
## めざす姿

- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

## めざす姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 基本方針を実現するため取り組み

- 顧客に合わせた情報発信の拡充
- 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充
- マイナンバーカードの普及及び利用促進
- 共創による地域社会づくりの推進
- 市政モニタリングの実施
- 緊急時における情報発信の強化
- オープンデータの充実
- デジタルトランスフォーメーション(D X)の推進
- 外部意見の活用
- 非常時に備えた組織体制の構築

## 対話を通して 市役所能力を高める



### 2022 年度の主な成果

#### 2-1-1 事務事業の見直し

- ・ 「住民票等の郵送請求手続業務」「学童保育クラブ入会手続業務」「市内小学校における栄養士業務」について、ワークショップを通じ改善策の検討を行い、業務改善計画を策定しました。また、システムの改善など、すぐに実施できる改善項目について、改善を実施しました。
- ・ 税関連業務、国民健康保険の給付業務などで、新たに 23 件の RPA を導入し、業務時間を 2,118 時間削減しました。
- ・ メタバースやアバターを活用した職員採用 PR 動画を 4 本、DX の取組の紹介動画を 2 本作成し、公開しました。

#### 2-1-6 学校給食業務の運営体制の最適化

- ・ 学校給食業務に民間活力を導入するため、給食調理員の退職動向に併せ、市内小学校 3 校において、業務委託を実施しました。また、業務委託を導入する中でも、安全・安心でおいしい給食を提供し続けられるよう、直営校の役割を検討し、学校給食調理職の今後のあり方報告書を作成しました。直営校の役割を着実に実行するため、研修の実施など、あり方報告書に基づく取組みを実行しました。

#### 2-1-10 市民センター等における最適なサービスの構築

- ・ 2023 年 1 月末に、南町田駅前連絡所を閉所しました。閉所に伴い、南町田駅前連絡所が従来取り扱ってきた行政サービスは、南町田グランベリーパーク駅至近の民間事業者への業務委託や、行政証明書自動交付機の設置によって対応しました。

#### 2-2-2 人材の確保と育成の推進

- ・ 職員採用試験について、これまでの「東京共同電子申請・届出サービス」での申し込みに加え、新たに「LINE」による申し込みを開始しました。

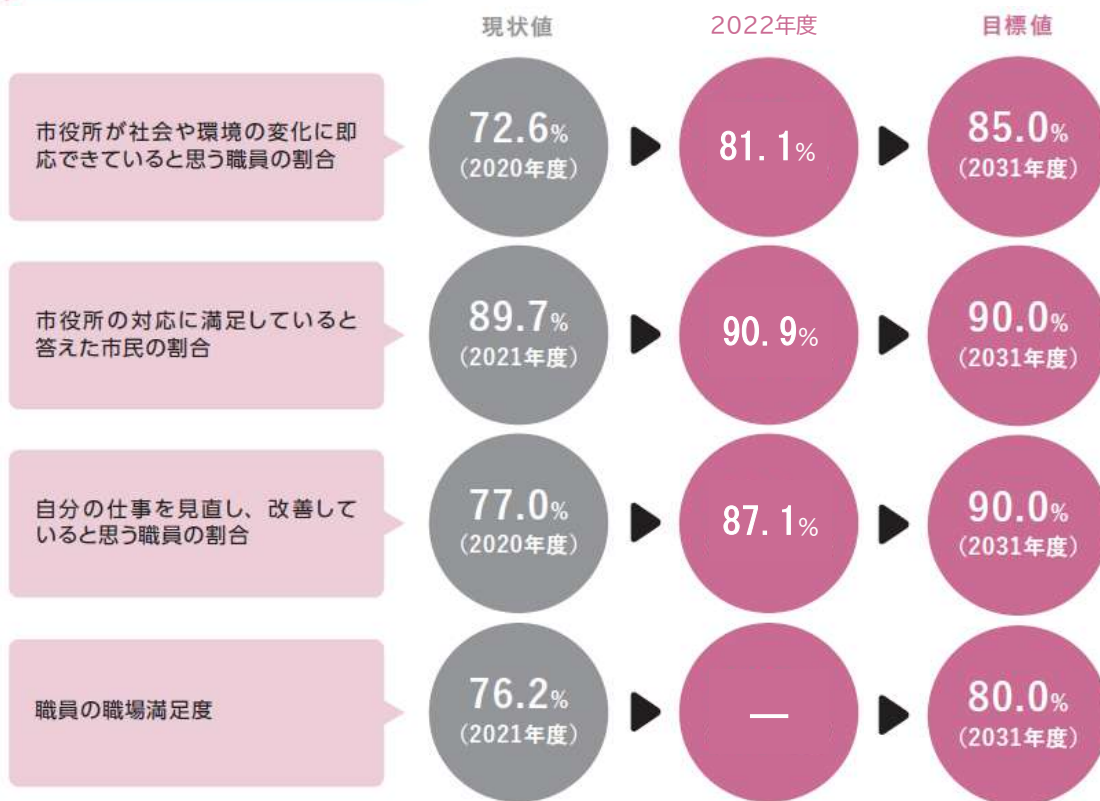
## 基本方針 2

# 対話を通して 市役所能力を高める

### めざす姿

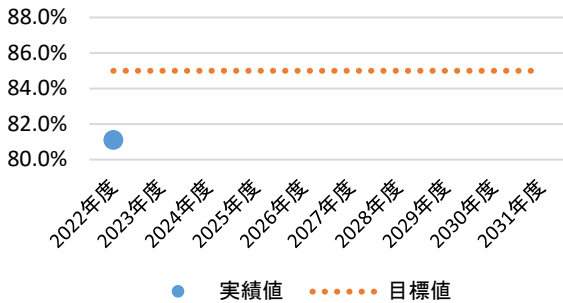
- 社会情勢や行政需要の変化に柔軟に対応できるよう、組織能力の強化に取り組んでいます。
- 市民視点を持って新たなことに挑戦する職員が育成されています。
- すべての職員が、心身ともに充実した気持ちで、やりがいを持って業務に取り組む職場環境が整備されています。

### めざす姿の実現度を測る指標

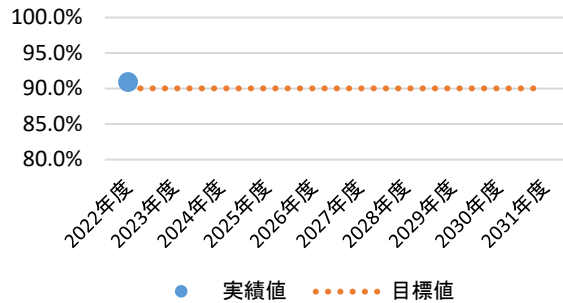


## 指標の経過

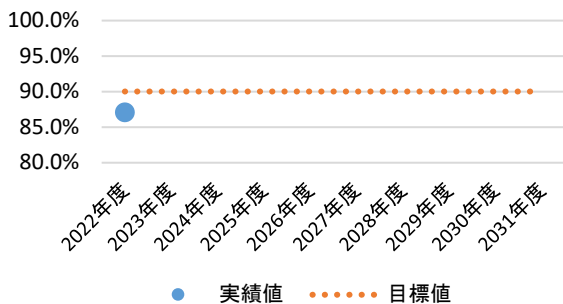
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合



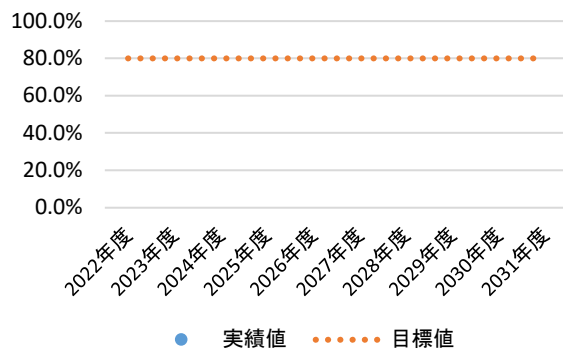
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合



自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合



職員の職場満足度



## 基本方針を実現するため取り組み

- 事務事業の見直し
- 非常時に備えた組織体制の構築（再掲）
- 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合
- 学校用務業務の運営体制の最適化
- 小中学校における学校経営の支援
- 職員が能力を発揮できる職場環境づくり
- 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し
- 市税業務改革
- 学校給食業務の運営体制の最適化
- 学校事務業務の運営体制の最適化
- 市民センター等における最適なサービスの構築
- 人材の確保と育成の推進



## 次世代につなぐ 財政基盤を確立する



### めざす姿の実現度を測る指標

#### 3-1-4 国民健康保険事業財政の健全化

- ・ 「第5期町田市国民健康保険事業財政改革計画」に基づき、医療費の適正化や国民健康保険税率の見直しなどを行いました。

#### 3-1-7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保

- ・ ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析・活用することで、最適な空調管理を行い、CO2排出量を2020年度比で128t削減しました。
- ・ 「遠藤周作生誕100年記念展を応援しよう！」など、使い途を特定した期間限定のふるさと納税を4件実施しました。

#### 3-1-9 道路アセットマネジメントの推進

- ・ 道路資産の寿命を延ばし、維持管理費用を縮減する予防保全型の維持管理への転換を図るため、橋梁及びペDESTリアンデッキの長寿命化修繕計画を改定するとともに、トンネルや横断歩道橋などの長寿命化修繕計画を策定しました。
- ・ 街路樹の特性・樹形や周辺環境との調和等に配慮しながら質の高いみどりとして充実させるため、路線ごとに更新方法を定めた街路樹更新計画を策定しました。

#### 3-2-1 公共施設再編の推進

- ・ 子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができ、また、地域の方々が広く利用できる複合施設の整備を目指して、「町田市（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画」を策定しました。

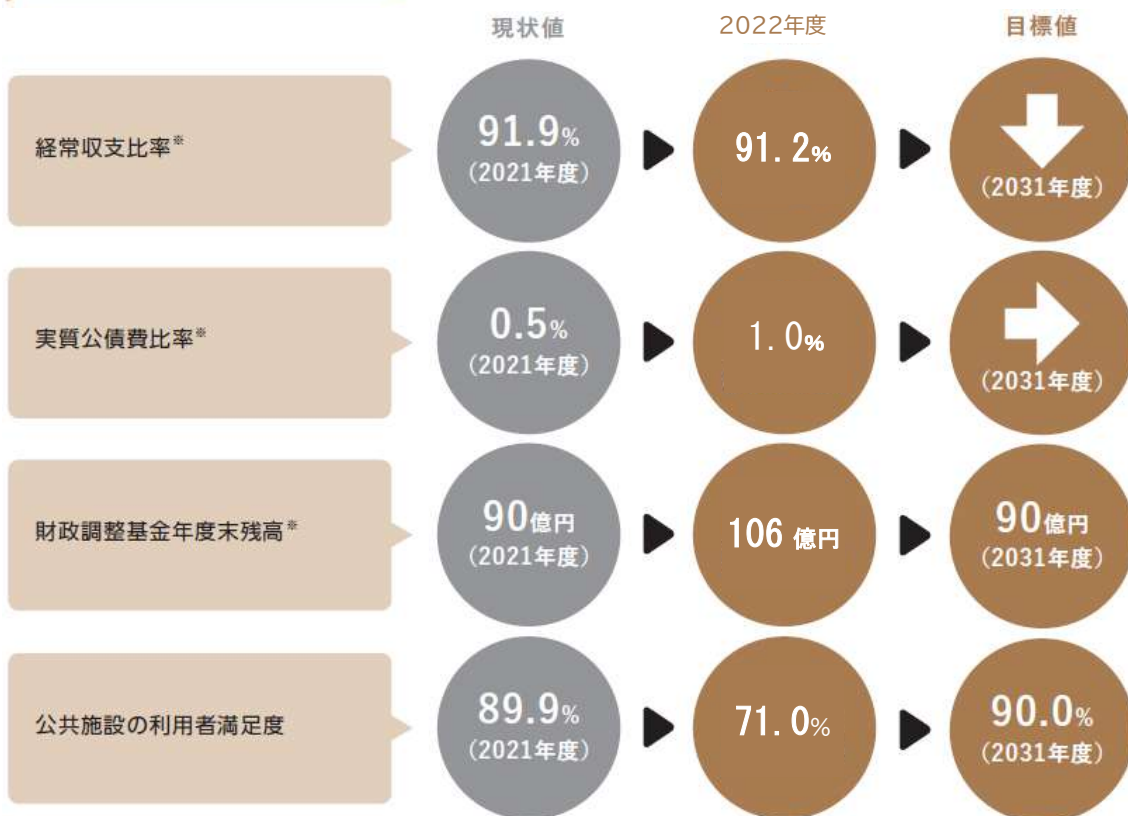
### 基本方針 3

## 次世代につなぐ 財政基盤を確立する

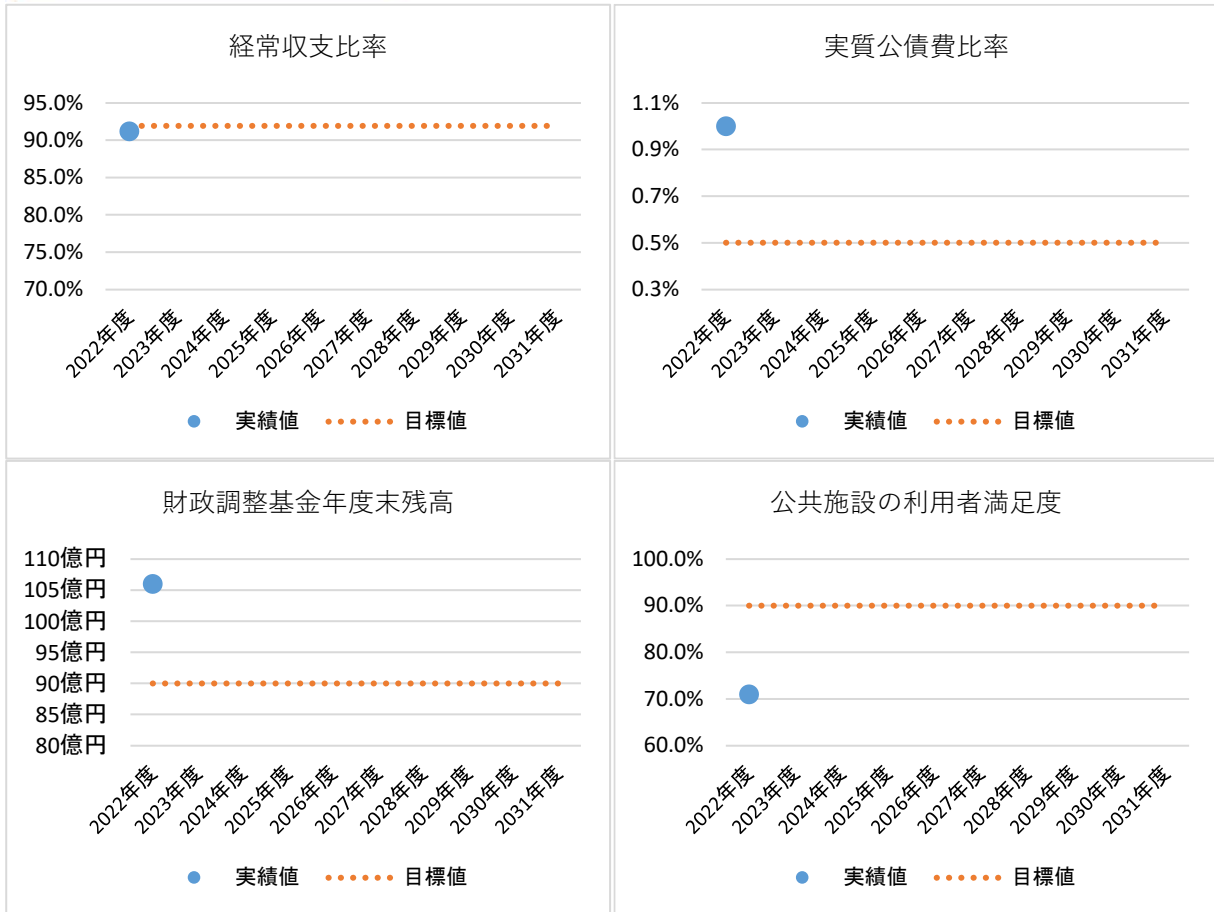
#### めざす姿

- 財務情報を資産管理や事業評価などに活用することにより、財政運営に関するマネジメント力が強化されています。
- 市の財政負担の軽減を図りながら事業を推進しています。
- 公共施設などを総合的かつ計画的に維持管理・活用しています。また、公共施設の再編を通じて「公共施設・公共空間のより良いかたち」が実現されています。

#### めざす姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 基本方針を実現するため取り組み

- 行政評価シートのさらなる活用
- 受益者負担の適正化
- 下水道経営基盤の強化
- 市庁舎の適切な維持管理と財源確保
- 道路アセットマネジメントの推進
- 公共施設の管理運営手法の最適化
- 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理
- 国民健康保険事業財政の健全化
- 病院事業の経営改善の推進
- 新たな資金運用の推進
- 公共施設再編の推進

# 「財政見通し」と決算見込額との 比較分析

## 4 「財政見通し」と決算見込額との比較分析

### (1) 計画額と決算見込額との比較

歳入・歳出ともに、2022年度決算見込額が計画額を上回りました。歳入は、市税など全ての項目で計画額を上回りました。歳出は、義務的経費において、人件費などが計画額を下回りましたが、扶助費が計画額を上回ったため、義務的経費総額は、計画額を上回りました。また、その他の経費のうち、経常事業費及び政策的事業費が計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳入(一般財源)	2022年度(令和4年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	93,626	112,021	18,395	
市税	68,472	70,421	1,949	主に個人市民税や法人市民税の増加により、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	14,103	18,778	4,675	主に地方消費税交付金や地方交付税が想定よりも多かったことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	3,615	5,517	1,902	主に財政調整基金繰入金の増加により、計画額を上回りました。
その他	7,436	17,305	9,869	主に前年度繰越金が見込みを上回ったことにより、計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳出(一般財源)	2022年度(令和4年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	93,626	104,178	10,552	
義務的経費	39,966	41,395	1,429	
人件費	20,096	19,807	△ 289	正規職員人件費、会計年度任用職員人件費、退職手当ともに、計画額を下回りました。
正規職員	16,889	16,742	△ 147	
うち退職手当	1,312	872	△ 440	
会計年度任用職員	3,207	3,065	△ 142	
扶助費	12,652	14,514	1,862	児童福祉費、保健衛生費などが計画額を上回りました。
公債費	7,218	7,074	△ 144	後年度の公債費負担の平準化及び抑制のため、借入方法を見直した結果、計画額を下回りました。
その他の経費	53,660	62,783	9,123	
繰出金等	18,117	17,554	△ 563	国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、下水道事業会計への繰出金等が計画額を下回りました。
事業費	35,543	45,229	9,686	
経常事業費	28,115	38,669	10,554	財政調整基金への積立金や、光熱費の増加などにより計画額を上回りました。
政策的事業費	4,444	4,550	106	小中学校の増改築や改修の事業費が計画額を上回りました。
システム経費	2,984	2,010	△ 974	計画額を下回りました。
歳入－歳出 (=収支差額)	0	7,843	7,843	



## (2) 2022年度(令和4年度)の財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2022年度(令和4年度)			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率(%)	93.0	91.2	△ 1.8	分母に算入される臨時財政対策債などが減額となった一方で、分子に算入される物件費や扶助費の増額の影響により、計画数値を1.8ポイント下回りました。
公債費負担比率(%)	7.7	6.4	△ 1.3	分子に算入される公債費の減額により計画数値を1.3ポイント下回りました。
実質公債費比率(%)	1.3	1.0	△ 0.3	公営企業(病院、下水道)を含む市全体の実質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高(億円)	80	(※) 106	26	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2023年(令和5年)5月31日現在のものです。

- ◆経常収支比率……市税などの経常的な収入(分母)が、人件費や扶助費などの経常的支出(分子)にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆公債費負担比率……公債費(市債の償還に要する経費)が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆実質公債費比率……一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆財政調整基金……大幅な税収増や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金(積立金)です。

